

年 報

— 令和 4 年度 —



No. 12

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
1.	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
2.	八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）	3
III	教育普及等	
1.	常設展示	4
2.	企画展示	4
3.	教育普及の実績	9
4.	是川縄文の日	15
5.	八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	16
6.	地域連携	16
7.	調査研究	18
8.	広報・情報発信	20
9.	ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	21
IV	埋蔵文化財調査等	
1.	発掘調査事業概要	22
2.	調査概要	26
3.	発掘調査報告書	34
4.	情報公開	34
5.	是川遺跡美術工芸品保存修理事業	35
6.	八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理	35
7.	埋蔵文化財活用活性化事業	35
V	史跡整備	
1.	史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業	36
2.	史跡維持管理	37
3.	一王寺遺跡内容確認調査	38
VI	管理運営概要	
1.	協議会等	39
2.	日記抄	40
3.	来館者利用状況	46
4.	小中学校利用状況	47
5.	資料利用状況	48
6.	資料収蔵	53
7.	予算概要	54
8.	新型コロナウイルス感染症対策	54
VII	組織・関係団体	
1.	組織及び職員構成	56
2.	八戸縄文保存協会	56
3.	是川文化財愛護会	57
4.	縄文是川ボランティア	57
	利用案内	58

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成 23 年（2011）に開館した。是川遺跡、風張 1 遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資することを基本理念としている。

- 昭和 32 年（1957） 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和 36 年（1961） 泉山岩次郎氏、斐次郎氏兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和 37 年（1962） 寄贈品のうち、中居遺跡出土品 633 点が重要文化財に指定。
- 昭和 38 年（1963） 「考古館」完成（9 月 30 日）。
- 昭和 49 年（1974） 「歴史民俗資料館」完成（3 月 30 日）。
- 昭和 50 年（1975） 「歴史民俗資料館」開館（5 月 10 日）。
- 平成 5 年（1993） 3 月 「縄文学習館」基本設計完成。 4 月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5 月 建築予定地発掘調査実施（8 月終了）・地質調査完了。
6 月 映像展示ソフト製作委託実施。 7 月 建築実施設計完成。
8 月 展示実施設計完成。
- 平成 6 年（1994） 3 月 建築・設備・展示各工事完成。 6 月「縄文学習館」開館（6 月 24 日、八戸市博物館分館）。
- 平成 7 年（1995） 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2 月 22 日）。
- 平成 9 年（1997） 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年（2003） 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年（2004） 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
史跡追加指定（史跡総面積 213,372.52㎡、遺跡全体の 56.74%）。
- 平成 17 年（2005） （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年（2006） 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。
プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
実施設計を実施。
- 平成 19 年（2007） 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 20 年（2008） 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 21 年（2009） 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 22 年（2010） 4 月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5 月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
- 平成 23 年（2011） 6 月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定（総数 963 点）。
7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7 月 10 日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7 月 10 日～9 月 25 日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7 月 17 日）。
8 月 来館者 1 万人達成。※本館観覧者数
10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10 月 15 日～11 月 13 日）。
- 平成 24 年（2012） 7 月 開館 1 周年行事開催（7 月 7 日～7 月 24 日）。来館者 5 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 25 年（2013） 10 月 史跡追加指定（史跡総面積 213,497㎡、遺跡全体の 56.78%）。
- 平成 26 年（2014） 6 月 来館者 10 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 28 年（2016） 5 月 来館者 15 万人達成。※本館入館者総数
7 月 開館 5 周年行事開催（7 月 9 日～7 月 10 日）。
10 月 史跡追加指定（史跡総面積 219,009㎡、遺跡全体の 58.24%）。
- 平成 30 年（2018） 1 月 来館者 20 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 元 年（2019） 3 月 「史跡は川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定。
10 月 来館者 25 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 2 年（2020） 是川遺跡発掘 100 周年及び記念イベント開催。
7 月 整備工事のため「縄文学習館」休館。
11 月 「是川縄文の日」、「是川縄文普及月間」制定。
- 令和 3 年（2021） 7 月 開館 10 周年行事開催（7 月 10 日～7 月 11 日）。
「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録。（7 月 27 日）
- 令和 4 年（2022） 6 月 来館者 30 万人達成。※本館入館者総数

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1)施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
○住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2)施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造＋2 階鉄骨造
○敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
○建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3)主要施設・面積 ※床面積 1 階：2,408.19㎡ 2 階：2,185.63㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室（応接室）	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	2F	常設展示室	503.01		出土品整理室	143.47
	保存科学室	55.90		国宝展示室	46.60		図面整理室	87.86
	作業室	54.90		企画展示室	178.37		写真撮影室	41.66
	ミュージアムショップ	78.59		展示準備室	81.94		ベビーコーナー	4.48

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4)建設事業費 ※総事業費：2,242,439千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
○器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館） ※史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備事業により、令和 2 年 7 月から休館中

(1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）

○住所：青森県八戸市大字是川字中居 3-1

(2) 施設の概要

○構造：1 階・2 階鉄筋コンクリート造

○敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡

○建築基本・実施設計：(株) 武田菱設計事務所 ○建築工事：(株) 大入建設

○展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発 (株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1 階：519.940㎡ 2 階：103.880㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

○駐車場：普通車 8 台 ○トイレ：1 か所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671 千円

○基本・実施設計：11,845 千円 ○外構工事等：5,789 千円 ○本棟工事等：241,665 千円

○展示工事・映像資料製作：68,644 千円 ○その他：13,728 千円

(5) 展示改修等事業費

○事業費：8,810 千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発 (株)



八戸市縄文学習館
(八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館)

III 教育普及等

1. 常設展示

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイマージョン・シアターは、来館者は川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多様に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成される。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。令和3年度から第7回「学芸員のおすすめ出土品」を公開している。

合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

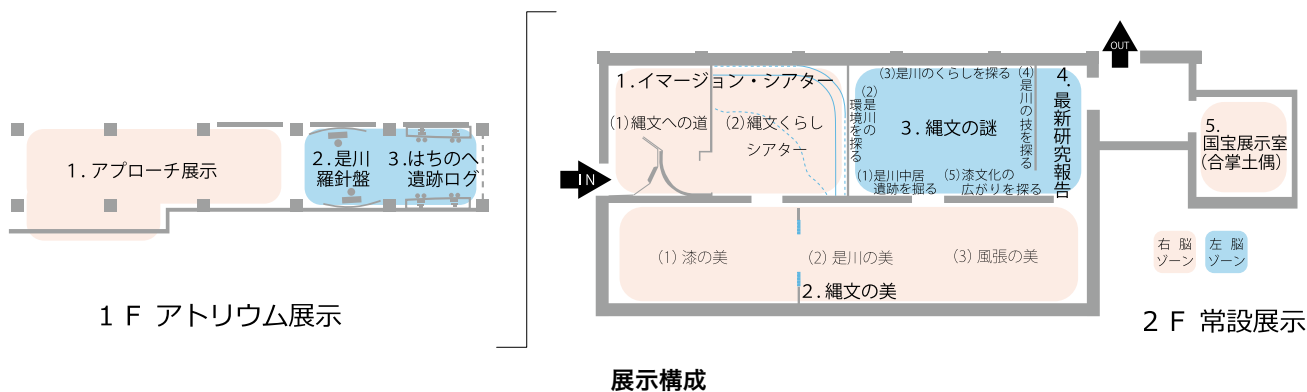
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	42	42	-	-	-	-
是川の美	214	167	47	-	-	-
風張の美	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	64	30	3	1	23	7
最新研究報告	12	-	12	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝 1	-	-	-	-
計	536	443	62	1	23	7



縄文の美

常設展示品（令和4年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割



2. 企画展示

令和4年度は、昨年度から会期を延長した企画展「是川遺跡の鉢形土器」、特別展「行きかう土器とヒト」、秋季企画展「食と縄文人」、冬季企画展「縄文・かたちの美 - 是川遺跡の皿形土器 -」を開催した。

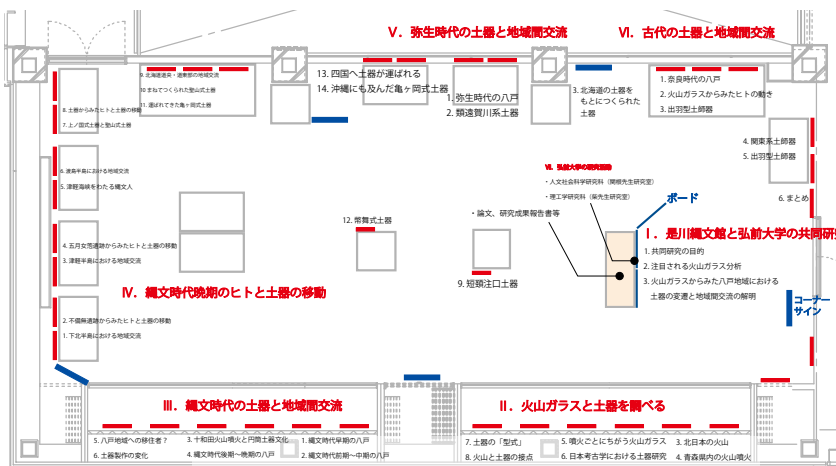
(1) 企画展「是川遺跡の鉢形土器」

開催期間 令和3年12月11日（土）～令和4年5月5日（木・祝） 83日間※1/24～3/7 臨時休館
 観覧者数 2,276人（73人／日）※令和4年4月1日から（31日間）
 展示資料数 131点
 主な展示品 鉢形土器（中居遺跡）、深鉢形土器（一王寺遺跡）

(2) 特別展「行きかう土器とヒト」

開催期間	令和 4 年 7 月 16 日 (土) ～ 9 月 4 日 (日) 50 日間
観覧者数	5,962 名 (119 人/日)
展示資料数	196 点
印刷物	ポスター (B2 版) 500 枚 リーフレット (A4 版) 50,000 枚 招待券 1,000 枚 解説リーフレット (A3 版) 5,000 枚 図録 (A4 版カラー 100 ページ) 500 部
主な展示品	壺形土器 (幣舞遺跡)、注口土器 (風張 1 遺跡)、注口土器 (柏原 5 遺跡)、深鉢形土器 (牛ヶ沢 (4) 遺跡)、深鉢形土器 (猫又 (2) 遺跡)、磨石 (水木沢遺跡)、土師器坏・甕 (田面木遺跡) ほか
併催行事	特別展ギャラリートーク 7/10 を除く会期中土曜日 (各 1 回) 午後 2 時～ ※ 7/23・30、8/6 は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した 特別展考古学講座 (→ p10) 8/6 午後 2 時～
共同研究機関	弘前大学大学院人文社会科学部研究科 文化財論研究室 (代表: 関根 達人 教授) 弘前大学大学院理工学研究科 (柴 正敏 名誉教授・近藤 美佐紀 氏)
協力	釧路市立博物館・苫小牧市美術博物館・北斗市郷土資料館・上ノ国町教育委員会・青森県立郷土館・ おいらせ町教育委員会・五所川原市教育委員会・むつ市教育委員会・三沢市教育委員会・八戸市 博物館・九戸村教育委員会・大崎市教育委員会・岩手県・(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化 財センター・(公財) 高知県文化財団高知県立埋蔵文化財センター・北谷町教育委員会・島口天氏

是川縄文館と弘前大学は、平成 30 年から「火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明」をテーマとした共同研究を進めてきた。これまでの研究結果をもとに、八戸地域における縄文時代から平安時代の土器からみた文化の移り替わりや地域間交流について紹介した。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況

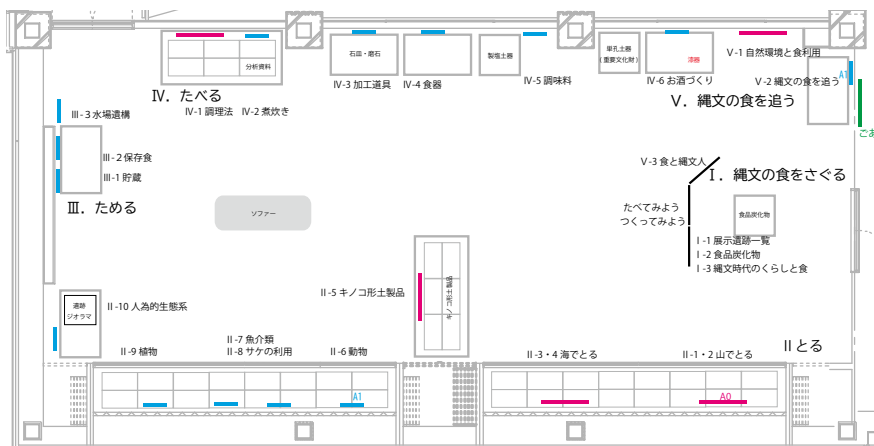


津軽地方の火山ガラスが検出された大洞式土器

(3) 企画展「食と縄文人」

開催期間	令和4年10月8日(土)～令和4年11月20日(日) 38日間
観覧者数	4,994名(131人/日)
展示資料数	337点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)35,000枚 解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー50ページ)500部
主な展示品	食品炭化物(熊ヶ平遺跡)、キノコ形土製品(中居遺跡・重要文化財)、ドングリ圧痕土器(上ノ山II遺跡)、製塩土器(滝端遺跡)、ハマグリ(新井田古館遺跡)ほか
併催行事	企画展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～ ※11/5は午前10時～ 小中学生向けギャラリートーク 10/10、11/12 10時～ 企画展考古学講座(→p10) 11/5 午後2時～ どんぐりの妖精ごしょどん現る! 10/29、10/30
展示協力	青森県埋蔵文化財調査センター、青森県営浅虫水族館、青森県立郷土館、秋田県埋蔵文化財センター、鹿角市教育委員会、大仙市、岩手県、(公財)岩手県文化振興財団埋蔵文化財センター、一戸町教育委員会、御所野縄文博物館、階上町教育委員会、八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館

縄文時代の人々は、命をつなぐために、どのように食料を集め・加工し食べていたのか、八戸地域の遺跡からみつかった動物・植物資料を中心に、北東北で暮らした縄文人の食を紹介した。会期中、小中学生向けギャラリートークを2回実施し、縄文時代の食について関心を深めていただく機会とした。また、縄文の食を身近に感じてもらうためレシピカードを配布した。



展示構成



企画展リーフレット



展示状況

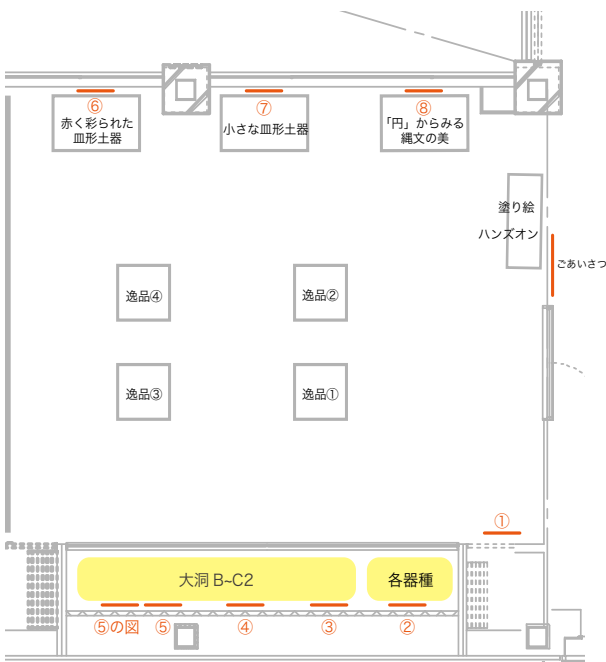


キノコ形土製品(大湯環状列石ほか出土)

(4) 冬季企画展「縄文・かたちの美 ―是川遺跡の皿形土器―」

開催期間 令和4年12月10日(土)～令和5年5月7日(日) 120日間
 観覧者数 3,602人(41人/日) ※令和5年3月31日時点(86日間)
 展示資料数 51点
 主な展示品 皿形土器(中居遺跡)

是川発掘100周年を記念してスタートした、出土品を種類別に紹介するシリーズ企画第4回。是川遺跡で出土した皿形土器の多様さや、形・デザインのうつりかわりなどを展示。文様をよく観察してもらうため、皿形土器片のハンズオン展示やぬりえシールの配布を行った。好評につき3月21日(火・祝)までの会期を5月7日(日)まで延長した。



展示構成



冬季企画展ポスター



展示状況



ハンズオン展示

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
平成 23 年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10 ～ 9/25	77	19,245	275	222
平成 23 年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15 ～ 11/13	27	7,509	278	358
平成 24 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 23 年度発掘資料展～	4/28 ～ 6/24	53	6,632	125	56
平成 24 年	特別展	発掘された日本列島 2012 新発見考古速報	8/8 ～ 9/17	38	7,723	203	600
平成 24 年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13 ～ 11/25	39	3,037	77	169
平成 25 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 24 年度発掘資料展～	4/27 ～ 6/23	52	4,135	79	120
平成 25 年	特別展	みみずく土偶と縄文人－関東の晩期安行文化－	7/20 ～ 9/2	41	4,577	111	203
平成 25 年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12 ～ 11/24	38	2,884	74	235
平成 26 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 25 年度発掘資料展～	4/26 ～ 6/22	52	3,630	69	138
平成 26 年	特別展	トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民のくらし～	8/1 ～ 9/15	42	5,364	128	115
平成 26 年	秋季企画展	海と火山と縄文人－是川縄文館・東京大学共同研究展示－	10/11 ～ 11/24	39	3,168	81	179
平成 27 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 26 年度発掘資料展～	4/26 ～ 6/22	51	4,477	88	190
平成 27 年	特別展	漆と縄文人	7/25 ～ 9/6	39	5,753	148	162
平成 27 年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10 ～ 11/23	39	3,782	97	221
平成 27 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真－	12/19 ～ 3/21	74	2,775	38	24
平成 28 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 27 年度発掘資料展～	4/29 ～ 6/26	52	4,532	88	190
平成 28 年	特別展	山の縄文世界－中部高地の縄文時代－	7/23 ～ 9/4	39	5,320	136	122
平成 28 年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8 ～ 11/20	38	3,446	91	172
平成 28 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2－	12/17 ～ 3/20	75	2,336	32	38
平成 29 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～	4/29 ～ 6/25	52	4,187	80	138
平成 29 年	特別展	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報	8/5 ～ 9/18	42	7,600	180	497
平成 29 年	地域展	八戸の土偶	8/5 ～ 9/18	42	—	—	467
平成 29 年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く－人と風と草木のものがたり－	10/14 ～ 11/26	38	2,653	69	112
平成 29 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3－	12/16 ～ 3/21	75	1,948	25	43
平成 30 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 29 年度発掘資料展～	4/28 ～ 6/24	53	4,354	82	210
平成 30 年	特別展	海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～	7/21 ～ 9/2	43	5,440	126	215
平成 30 年	秋季企画展	どうぶつと縄文人	10/6 ～ 11/25	45	4,009	89	243
平成 30 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4－	12/15 ～ 3/21	75	2,254	30	78
令和元年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 30 年度発掘資料展～	4/27 ～ 6/23	52	6,007	116	215
令和元年	特別展	北の縄文世界－北海道・北東北の縄文遺跡群－	7/20 ～ 9/8	50	7,055	141	174
令和元年	秋季企画展	山のいとなみ	10/5 ～ 11/24	44	3,425	78	158
令和元年	冬季企画展	是川遺跡の壺形土器	12/14 ～ 4/17	100	3,114	31	205
令和 2 年	夏季企画展	泉山兄弟と是川遺跡	7/18 ～ 9/6	50	3,069	61	210
令和 2 年	秋季企画展	白神山地の縄文	10/10 ～ 11/23	39	3,597	92	250
令和 2 年	冬季企画展	是川遺跡の注口土器	12/12 ～ 5/5	117	1,961	23	143

過去 12 年間の特別展・企画展一覧 (1)

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
令和 3 年	特別展	是川遺跡	7/10～8/31	51	5,910	115	271
令和 3 年	秋季企画展	装い―身を飾る人びと―	10/16～11/28	37	6,212	167	353
令和 3 年	冬季企画展	是川遺跡の鉢形土器	12/11～5/5	83	2,962	35	131
令和 4 年	特別展	行きかう土器とヒト	7/16～9/4	50	5,962	119	196
令和 4 年	秋季企画展	食と縄文人	10/8～11/20	38	4,994	131	337
令和 4 年	冬季企画展	縄文・かたちの美 - 是川遺跡の皿形土器 -	12/10～3/31	86	3,602	41	51

過去 12 年間の特別展・企画展一覧 (2)

3. 教育普及の実績 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、一部イベントを中止または延期した。

前期考古学講座 (5 月～7 月)：縄文土器―器から読み解くくらしと技―

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/14 (土)	土器の胎土分析と混和材等について	帝京大学文化財研究所 研究員 河西学 氏	51
6/18 (土)	縄文土器は如何にして作られたのか―その技術の 探求―	千葉市埋蔵文化財調査センター 縄文 土器製作技術研究員 戸村正己 氏	49
7/9 (土)	土器に残された煮炊きの痕跡―土器残存脂質分析か ら考える古代の調理―	東京大学総合研究博物館 研究部 特任研究員 宮田佳樹 氏	39
合 計			139

後期考古学講座 (12 月～2 月)：食と縄文人

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
12/17 (土)	小山崎遺跡における縄文人の「食」について	遊佐町教育委員会 教育課 文化係 主事 金野史弥 氏	36
1/14 (土)	縄文人の塩づくり	福島県立博物館 専門学芸員 高橋満 氏	41
2/11 (土)	礫石器からみた縄文時代の食料加工	弘前大学人文社会科学部 教授 上條信彦 氏	49
合 計			126

これかわ考古学クラブ

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/28 (土)	開講式	落合美怜・佐藤ちひろ・菊地智慧 (当館学芸員)	9
6/4 (土)	バックヤードツアーほか	落合美怜・佐藤ちひろ・菊地智慧 (当館学芸員)	8
7/16 (土)	一王寺遺跡発掘体験		中止
8/6 (土)	植物から縄をつくろう！	落合美怜・佐藤ちひろ (当館学芸員)	9
12/3 (土)	縄文土器クッキーを作ろう！	落合美怜・佐藤ちひろ (当館学芸員)	8
1/21 (土)	土偶の髪型を復元してみよう！	落合美怜・佐藤ちひろ (当館学芸員)	7
2/4 (日)	修了式	落合美怜・佐藤ちひろ (当館学芸員)	7
合 計			48

※ 7/16 は悪天候のため中止。

特別展ギャラリートーク

実 施	講 師	参加者（人）
7/16（土）	船場昌子（当館学芸員）	17
8/13（土）	小久保拓也（当館学芸員）	6
8/20（土）	船場昌子（当館学芸員）	7
8/27（土）	船場昌子（当館学芸員）	14
9/3（土）	船場昌子（当館学芸員）	12
合 計		56

※ 7/23・30、8/6 はコロナウイルス感染・拡大防止対策のため中止。

特別展考古学講座

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
8/6（土）	行きかう土器と縄文人	弘前大学大学院 人文社会科学研究科 教授 関根達人 氏	41
合 計			41

縄文の布を編む講座

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
9/3（土）	解説「縄文の布について」	佐藤ちひろ（当館学芸員）	18
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合 計			18

縄文土器作り講座

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
10/15（土）	素地土作り	佐藤ちひろ（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	22
10/22（土）	縄文土器作り（成形作業）	佐藤ちひろ（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	21
3/25（土）	縄文土器野焼き	佐藤ちひろ・菊地智慧（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	24
合 計			67

秋季企画展ギャラリートーク

実 施	講 師	参加者（人）
10/8（土）	落合美怜（当館学芸員）	3
10/10（月）※	落合美怜（当館学芸員）	12
10/15（土）	落合美怜（当館学芸員）	9
10/22（土）	落合美怜（当館学芸員）	5
10/29（土）	落合美怜（当館学芸員）	3
11/5（土）	落合美怜（当館学芸員）	5
11/12（土）※	落合美怜（当館学芸員）	0
11/12（土）	落合美怜（当館学芸員）	3
11/19（土）	落合美怜（当館学芸員）	5
合 計		45

※ 10/10、11/12 の午前は小学生向けギャラリートーク。

秋季企画展考古学講座

実施	内容	講師	参加者（人）
11/5（土）	乾燥食料の保存と「あく抜き」 ー縄文時代から伝承された「食」の技術ー	物質文化研究所 一芦社 代表 名久井文明 氏	58
合 計			58

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者（人）
11/13（土）	一王寺遺跡	宇庭瑞穂（当館学芸員）	51
	松ヶ崎遺跡	宇庭瑞穂（当館学芸員）	
	笹ノ沢（6）遺跡	上ノ山拓己（当館学芸員）	
	八戸城跡	山田貴博（当館学芸員）	
合 計			51

サポートスタッフ研修会（5月～6月）

実施	内 容	講 師	参加者（人）
5/7（土）	オリエンテーション	落合美鈴・菊地智慧（当館学芸員）	21
5/21（土）	是川遺跡について	落合美鈴（当館学芸員）	22
5/28（土）	常設展示解説	落合美鈴・菊地智慧（当館学芸員）	23
6/11（土）	体験実習（縄文土器作り）	落合美鈴（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	19
6/24（金）	博物館研修（青森市）	落合美鈴（当館学芸員）	16
6/25（土）	救命講習・災害時の対応について	八戸消防署員 落合美鈴・佐藤ちひろ（当館学芸員）	13
合 計			114

サポートスタッフ研修会（1月～2月）

実施	内 容	講 師	参加者（人）
1/21（土）	オリエンテーション	落合美鈴（当館学芸員）	18
1/28（土）	常設展示解説	落合美鈴・菊地智慧（当館学芸員）	22
2/4（土）	体験実習（縄文土器作り）	落合美鈴（当館学芸員）	18
2/18（土）	八戸の文化財について	横山寛剛（八戸市社会教育課学芸員）	27
2/23（金）	博物館研修（盛岡・一戸方面）	佐藤ちひろ（当館学芸員）・ 関根柔和（当館職員）	19
2/25（土）	是川遺跡と世界遺産について	船場昌子（当館学芸員）	26
合 計			130

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実 施	内 容	参加者（人）
夏季前期：4/10（日）～ 7/17（日） 11回	火起こし・滑石の勾玉作り・琥珀の勾玉作り	190
夏季後期：8/21（日）～ 10/25（日） 9回		140
冬 季：11/6（日）～ 3/26（日） 18回		249
合 計		579

※ 4/1～4/30、7/17 の日曜日縄文体験コーナーはコロナウイルス感染・拡大防止対策のため中止。
 ※ 10/9、11/27 はイベント等のため日曜日縄文体験コーナー中止。

「是川縄文の日」体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者（人）
11/3（木・祝）	滑石の勾玉作り	46
合 計		46

土曜体験教室

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
5/3（土）	滑石でペンダント作り教室	落合美怜・菊地智慧（当館学芸員）	24
7/2（土）	合掌土偶作り教室	落合美怜（当館学芸員）	22
9/17（土）	シカの角でペンダント作り教室	小久保拓也（当館学芸員）	17
11/19（土）	トチの実で縄文クッキング	佐藤ちひろ（当館学芸員）	19
1/7（土）	縄文土器の拓本作り教室	落合美怜（当館学芸員）	7
3/4（土）	縄文土偶作り教室	落合美怜（当館学芸員）	25
合 計			114

是川遺跡クリーンデー

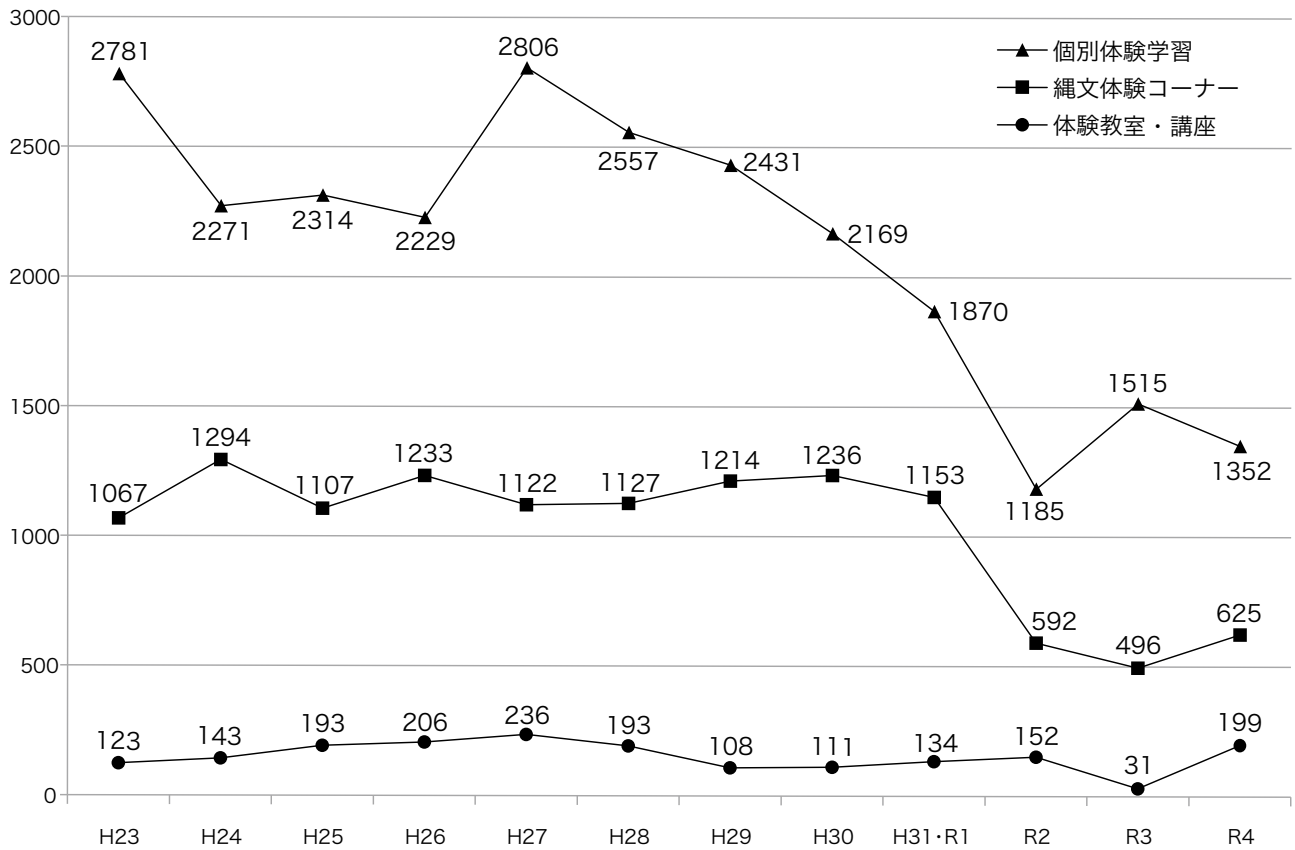
実 施	内 容	参加者（人）
8/20（土）	是川縄文館～是川遺跡記念碑の清掃	12
10/29（土）	是川縄文館・縄文学習館周辺の清掃	7
合 計		19

学芸員等による講話・授業 ※館内開催分。館外対応分は P.19（2）を参照されたい。

実 施	内 容	講師	団体・場所	参加者（人）
7/5（土）	世界遺産へ GO ! 是川遺跡から学ぶ JOMON	佐藤ちひろ	五戸町立五戸小学校 6 学年 （於：是川縄文館）	60
8/7（日）	「土から土器ができるまで」刊行記念トークイベント	小久保拓也	是川縄文館	49
8/23（土）	講話「是川小学校研修」	小久保拓也	是川小学校（於：是川縄文館）	12
9/30（土）	講話「縄文時代と是川遺跡」	小久保拓也	鷗盟大学（於：是川縄文館）	21
10/14（土）	講話「縄文時代と是川遺跡」	小久保拓也	鷗盟大学（於：是川縄文館）	20
11/26（土）	面接授業『是川遺跡の縄文考古学』 「縄文土器作り」「縄文時代の漆文化」	小久保拓也	放送大学八戸サテライト スペース（於：是川縄文館）	20
11/27（日）	面接授業『是川遺跡の縄文考古学』 「世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」	小久保拓也	放送大学八戸サテライト スペース（於：是川縄文館）	20
1/14（土）	是川縄文館ボランティア学習会 「田向冷水遺跡からみた八戸の古墳時代」	宇部則保	是川縄文館	15
合 計				217

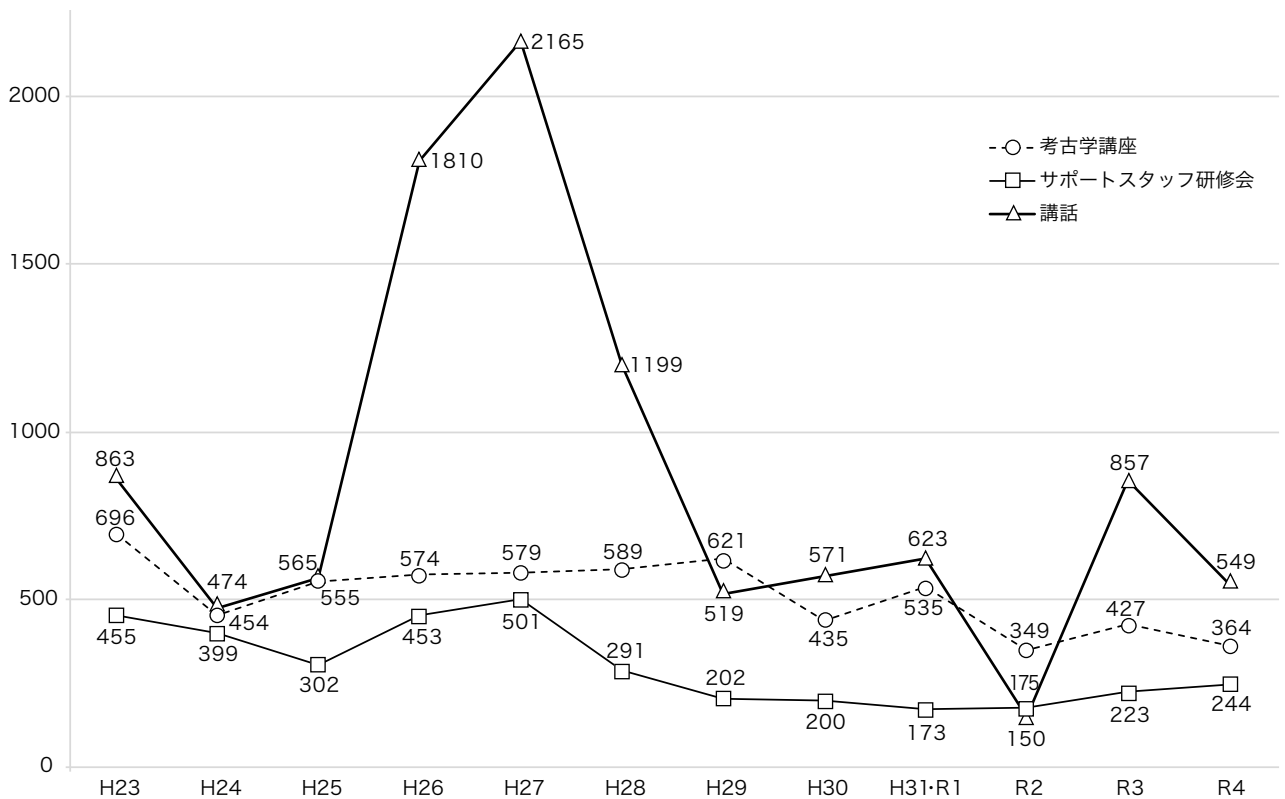
ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体に館者のうち実際の体験参加者（引率者等含む）の数を記載する

月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
5/13	滑石の勾玉作り	五戸町立上市川小学校 6 学年	15	10/4	縄文土偶作り	鷗盟大学 2 学年	20
5/17	滑石の勾玉作り	八戸第一養護学校高等部	4	10/15	滑石の勾玉作り	成美会八戸支部	11
5/27	滑石の勾玉作り	南部町立名久井小学校 6 学年	28	10/18	縄文土偶作り	鷗盟大学	17
6/14	滑石の勾玉作り	向陵高等学校 1 ～ 3 学年	27	10/21	土製ペンダント作り	三戸町立斗川小学校 6 学年	7
6/29	滑石の勾玉作り	青森県立第一養護学校中学部 2 学年	3	10/21	土製ペンダント作り	五戸町立切谷内小学校 5・6 学年	15
6/30	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校 6 学年	24	10/28	テラコッタ野焼き	八戸市立是川中学校 (於：八戸市立是川中学校)	70
7/1	滑石の勾玉作り	八戸市総合教育センター	34	10/28	滑石の勾玉作り	八戸市立吹上小学校 6 学年	71
7/6	滑石の勾玉作り	おいらせ町立百石小学校 6 学年	34	11/8	滑石の勾玉作り	新郷村立新郷小学校 6 学年	13
7/7	滑石の勾玉作り	妙光園保護者会	12	11/10	滑石の勾玉作り	八戸市立三条小学校 6 学年	47
7/27	滑石の勾玉作り	ろくのへ探検隊	26	11/11	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	83
8/26	縄文土偶作り	八戸市立是川小学校 6 学年	24	11/17	滑石の勾玉作り	南部町立福地小学校 6 学年	10
8/31	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年	18	11/18	滑石の勾玉作り	八戸市立大久喜小学校 5 学年	2
9/1	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 5 学年	28	11/19	火起こし	つぐみの丘	5
9/2	縄文土偶作り	八戸市立明治中学校 1 学年	25	11/25	滑石の勾玉作り	階上町立道仏小学校 6 学年	19
9/5	縄文土偶作り	八戸市立是川小学校 2 学年	21	11/26	縄文土器作り	放送大学面接授業	19
9/6	滑石の勾玉作り	八戸市立根城小学校 6 学年	89	12/6	火起こし・滑石の勾玉作り	八戸市立金浜小学校 1 ～ 6 学年	14
9/7	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 3 学年	34	12/10	琥珀の勾玉作り	八戸市総合教育センター	8
9/9	土製ペンダント作り	八戸市立是川小学校 1 学年	18	12/10	滑石の勾玉作り	八戸工業高等専門学校	36
9/13	滑石の勾玉作り	八戸市立城北小学校 6 学年	72	12/14	滑石の勾玉作り	八戸市立江陽小学校 6 学年	40
9/16	滑石の勾玉作り	階上町立赤保内小学校 6 学年	33	12/16	滑石の勾玉作り	八戸市立多賀台小学校 6 学年	24
9/22	滑石の勾玉作り	八戸市立城下小学校 6 学年	62	1/21	滑石の勾玉作り	きくよし学童スクール	12
9/22	滑石の勾玉作り	八戸市立下長小学校 6 学年	53	2/17	火起こし	かがり火えんぶり点火式 (於：市庁前広場)	3
9/30	滑石の勾玉作り	八戸市立根岸小学校 5 学年	65	3/28	滑石の勾玉作り	六戸町生活研究連合会	10
合 計							1,305



過去 12 年間の体験学習の利用者推移

※令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、体験受け入れを一部中止した。詳細は VI - 8 新型コロナウイルス感染症対策を参照されたい。



過去 12 年間の講演会等の利用者推移

※サポートスタッフ研修会は平成 28 年度から開催回数減となっている。
 ※※令和 3 年度の講話参加者数を訂正した（誤 331 → 正 857）。

4. 是川縄文の日

(1) 概要

泉山岩次郎・斐次郎兄弟による是川遺跡発掘 100 周年の節目となる令和 2 年に、毎年 11 月 3 日を「是川縄文の日」、毎年 11 月を「是川縄文普及月間」と定め、市民一人一人が、是川の縄文遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力を理解するとともに、誇りを持つことができるよう、継続して市民に情報発信していくこととしたものである。

3 年目にあたる令和 4 年は、令和 3 年 7 月には川石器時代遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録されたこともあり、縄文への注目度が増したことで、昨年同様の来場者数となった。



是川縄文の日チラシ

(2) 実施内容

○是川縄文の日

期 日 11 月 3 日 (木・祝) 9:00～17:00

来場者数 739 人 (令和 3 年: 740 人)

内 容 ①無料開放 ②記念品配布 ③学芸員と遺跡ツアー (雨天のため、午後は学芸員による常設展ギャラリートークへ変更) ④縄文体験コーナー (滑石の勾玉作り) ⑤いのるんクイズに挑戦! ⑥JOMON クロスワード (~11/30 まで) ⑦発掘調査出土品展示 ⑧おうちでお面を作ろう! (工作キット配布) ⑨土偶人気投票 ⑩コーヒー+ケーキセット 無料券プレゼント (先着 30 名) (これカフェ) ⑪コーヒー 1 杯無料サービス (これカフェ) ⑫縄文グッズ販売 (千葉学園高等学校) ⑬野菜販売 (是川新鮮あおぞら市) ⑭白神山地 VR 体験×写真展 in 縄文遺跡群 (青森県自然保護課)

○是川縄文普及月間

期 日 11 月 1 日 (火) ~ 30 日 (水)

来場者数 3,354 人 (令和 3 年: 4,908 人)

内 容 ①秋季企画展「食と縄文人」(10/8 ~ 11/20) ②秋季企画展考古学講座 ③秋季企画展ギャラリートーク (期間中毎週土曜日) ④遺跡調査報告 (11/12) ⑤ドングリで縄文 cooking ⑥日曜日縄文体験コーナー ⑦縄文土器野焼き (悪天候のため中止) ⑧第 7 回是川縄文の里俳句大会表彰式 (八戸縄文保存協会)



遺跡ツアー



大人気のマスコットキャラクターいのるん



縄文体験コーナー

5. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成27年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年1回、貸切バスを無償で活用してもらえようとし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

令和4年度は、八戸市内9校480人、市外8校226人、計706人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。引率者を含めた利用者総数は825人である。

月日	学校名	人数（人）
5/27	南部町立名久井小学校	28
6/30	田子町立田子小学校	24
7/6	おいらせ町立百石小学校	34
8/26	階上町立石鉢小学校	36
9/6	八戸市立根城小学校	89
9/16	階上町立赤保内小学校	33
9/22	八戸市立下長小学校	53
9/22	八戸市立城下小学校	59
10/5	おいらせ町立木内々小学校	46
10/21	三戸町立斗川小学校	7
10/28	八戸市立吹上小学校	71
11/10	八戸市立三条小学校	47
11/11	八戸市立柏崎小学校	83
11/25	階上町立道仏小学校	18
12/6	八戸市立金浜小学校	14
12/14	八戸市立江陽小学校	40
12/16	八戸市立多賀台小学校	24
計 17 校 706 人		

6. 地域連携

○放送大学との連携

放送大学が教育課程に基づき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携して、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した2日間計8回にわたる面接授業を開講している。講義には、全国からは川遺跡や是川縄文館に関心をもつ受講生20人が集まり、感染症対策をとりつつ講義を実施した。

・講義内容

科目名：「是川遺跡の縄文考古学」（全8回）

第1回「日本考古学における研究方法の広がり」

第2回「縄文土器作り」

第3回「是川遺跡の立地と環境」

第4回「縄文時代の漆文化」

第5回「動物考古学からみた縄文時代の暮らし」

第6回「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」

第7回「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」

第8回「世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」

日 時：11月26日（土）（第1回 - 第4回）、

11月27日（日）（第5回 - 第8回）

10：00～17：10

会 場：是川縄文館1F 体験交流室ほか

講 師：小久保 拓也（当館副参事）、

杉山 陽亮（社会教育課主幹）、

横山 寛剛（社会教育課主査兼学芸員）



放送大学面接授業

○高校との連携

・八戸圏域高等学校地域活動促進事業への協力

世界遺産となった是川遺跡や縄文文化への関心を高めることを目的とした、千葉学園高等学校生徒による縄文グッズ制作・販売及び制作体験。

縄文グッズ制作は、昨年度から引き続いてのもので、当館学芸員が縄文時代のファッションや文化について助言を行ったもの。生徒が制作した縄文グッズのうち、ヘアゴムとブローチは当館ミュージアムショップにて7月から販売を行っているほか、11月3日に開催した「是川縄文の日」には、限定品としてトートバッグとバネぐちポーチを販売するブースを提供した。

また、12月11日に行われた縄文グッズの制作体験では、助言協力のほか当日のイベント会場の貸出しなども行った。



「是川縄文の日」での販売のようす

○八戸ブックセンターとの連携

ブックセンターが主催するギャラリー展「紙から本ができるまで／土から土器ができるまで」の開催に合わせ出版された「土から土器ができるまで／小さな土製品をつくる」の刊行記念トークイベントが当館を会場に開催された。申込抽選による参加のほか、展示・出版のために行ったワークショップ「小さな土製品をつくる」に参加した中高生を招待した。終了後サイン会も行ったが、抽選にもれた方々も来館し、会場でサイン会を待つなど大変盛況となった。



ミュージアムショップでの陳列状況

日 時：8月7日（日）14：00～15：30

会 場：是川縄文館 1F 体験交流室

ゲスト：片桐仁（俳優・粘土作家）、
望月昭秀（縄文 ZINE 編集長）、
小久保拓也（当館副参事）

定 員：50 名



刊行記念トークイベント

○北緯 40° ナニヤトヤラ連邦会議漆産業振興専門部会との連携

日本一の生産量を誇る浄法寺漆を使ったワークショップや漆について学べるイベント「浄法寺漆×是川縄文～縄文時代と現代を繋ぐ漆～」を開催した。雨天であったが、漆掻き職人や漆職人（塗師）が指導にあたり、好評であった。

- ・漆掻き体験
- ・漆蠟を使ったキャンドル作り
- ・漆のストラップ艶出し体験

日 時：10月8日（土）・9日（日）

会 場：是川縄文館屋外テント・1F 体験交流室



漆イベント

7. 調査研究

(1) 共同研究

【第 4 期共同研究】

是川縄文館では、調査研究を主たる事業として掲げ、大学等の研究機関との共同研究事業を推進している。本事業により蓄積された質の高い研究成果を、館事業で公開活用することを目的としている。

第 1・2 期共同研究では、縄文時代における環境変動とそれに対する人の関わりについて研究を推進した。その成果から、環境変動に適応した縄文人の文化形成のプロセスや変遷の解明が課題として認識され、第 3 期では、火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明についての共同研究を行った。是川石器時代遺跡のうち、縄文時代晩期を中心とした集落である中居遺跡からは、植物質遺物や漆製品などが良い保存状態で出土する。これらの出土品のうち、藍胎漆器や編組製品の素材調達や製作に係る技術は、これまで課題としてきた地域間交流と深く関係していることが想定される。

こうした課題に取り組むため、縄文時代の編組・繊維製品の素材の同定や製作技法の解明に係る研究を進め、中居遺跡出土品を研究資料とする金沢大学人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究所と協議を行い、令和 4 年度から共同研究を推進することとした。初年次にあたる本年度は、同大学特任准教授佐々木氏がこれまでに調査した中居遺跡出土品の特徴を確認するとともに、共同研究の方向性や対象資料、調査計画についての協議を行った。最終年度に、共同研究の成果を企画展示において公開し、研究の総括論文を当誌に掲載する。

○共同研究テーマ 『編組技法からみた縄文時代の技術知の解明』

中居遺跡の藍胎漆器や繊維・編組製品の分析による、素材・製作技法の解明。

○研 究 期 間 令和 4（2022）年 4 月～令和 7（2025）年 3 月

（令和 4 年～令和 6 年度の 3 ヶ年計画の 1 年目）

○研 究 体 制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

金沢大学人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究所 特任准教授 佐々木 由香 氏

○研 究 活 動 等

藍胎漆器・繊維製品・編組製品の樹脂包埋切片法およびデジタルマイクロスコープ観察による素材同定

藍胎漆器の X 線 CT 撮影及び構造解析による製作技法の解明

是川地区を中心とした繊維・植物製品素材の現生植物調査

編組製品の復元製作による技術知の解明

(2) 学芸員の研究等業績：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

【論文等】

- 令和 4 年 5 月 小久保拓也 「是川石器時代遺跡での保存・活用、地域との協働」
『文化遺産の世界』40 NPO 法人 文化遺産の世界
- 令和 4 年 6 月 船場昌子 「鹿島沢古墳」『発掘された日本列島 2022 調査研究最前線』株式会社共同通信社
- 令和 5 年 3 月 落合美怜 令和 4 年度秋季企画展図録『食と縄文人』
- 令和 5 年 3 月 小久保拓也 「是川中居遺跡」「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館」
『青森の考古学－「青森県考古学」第 30 号－』青森県考古学会
- 令和 5 年 3 月 船場昌子 「鹿島沢古墳・丹後平古墳群」「根城跡」「八戸市博物館」同上
- 令和 5 年 3 月 宇部則保 「田向冷水遺跡」「東北北部型土師器」同上

【学会報告】

- 令和 4 年 7 月 2 日 宇部則保 青森県考古学会研究発表「石橋遺跡の平安時代集落について」
三内丸山遺跡センター
- 令和 5 年 1 月 28・29 日 船場昌子 「出土植木鉢からみた陸奥八戸藩の園芸」
江戸遺跡研究会第 35 回大会「江戸の園芸」誌上報告

【講話】

実 施	内 容	講 師	会 場	参加者 (人)
4/23 (土)	根城史跡ボランティアガイド養成講座 「根城の発掘調査」	船場 昌子	八戸市博物館	9
6/9 (木)	白銀公民館講座 「世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群」	小久保 拓也	白銀公民館	20
9/9 (金)	大館公民館歴史教室 「ペールを脱ぐ新田城～新田城発掘調査成果から～」	上ノ山 拓己	大館公民館	10
9/23 (金)	つがる市世界遺産フォーラム 「是川遺跡の保存・活用、地域との協働」	小久保 拓也	つがる市生涯学習交流センター	100
10/9 (日)	福島市「土偶の日ドキドキシンポジウム ～全国のしゃがむ土偶集合～」	小久保 拓也	Zoom	80
10/11 (火)	十和田奥入瀬文化観光認定ガイド養成講座 「白神山地と世界遺産」「世界遺産北海道・北東北の縄文遺跡群と是川石器時代遺跡」	船場 昌子	三本木農業恵拓高等学校	30
11/17 (木)	根岸公民館 歴史講座「世界遺産 是川石器時代遺跡」	佐藤 ちひろ	根岸公民館	9
11/24 (木)	あおもり県民カレッジ「世界遺産 是川石器時代遺跡」	小久保 拓也	八戸ポータルミュージアム はっち	40
11/30 (水)	小中野中学校「キャリア講座」	小久保 拓也	小中野中学校	20
3/ 5 (日)	根城史跡ボランティアガイド自主研修 「新田城跡の発掘調査について」	上ノ山 拓己	八戸市博物館	14
合 計				332

【他機関への指導・協力】

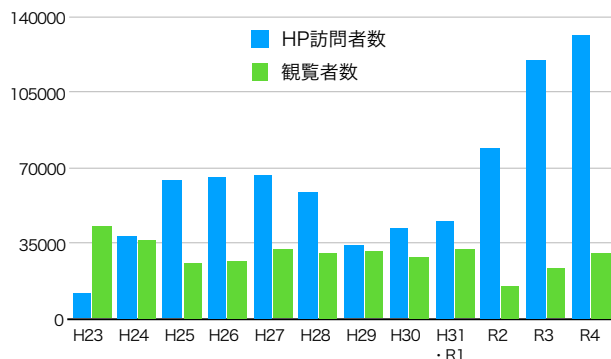
- 令和 4 年 9 月 5 日 宇部則保 令和 4 年度第 1 回高地性集落悉皆調査指導委員会 岩手県教育委員会
- 令和 5 年 3 月 14 日 宇部則保 令和 4 年度第 2 回高地性集落悉皆調査指導委員会 岩手県教育委員会

8. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

①ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より増加し、1 日あたりの平均訪問者数は 359.8 人（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月まで）であった。



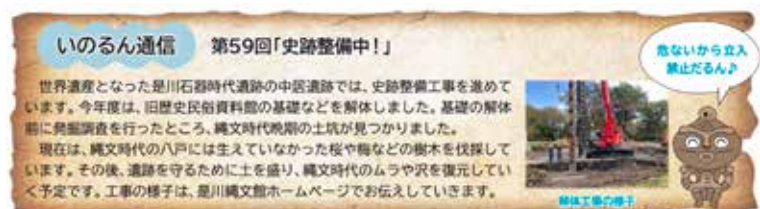
月	HP 訪問者数	観覧者数	更新回数	平均 (人 / 日)	英語版 HP
4	9,058	1,390	7	301.9	21
5	15,976	3,044	5	515.3	32
6	12,781	2,660	7	426.0	19
7	11,514	3,056	7	371.4	23
8	15,695	4,352	5	506.2	32
9	13,107	3,517	4	436.9	36
10	12,484	3,512	3	402.7	25
11	10,556	3,354	7	351.8	25
12	6,636	1,193	7	214.0	16
1	7,279	1,018	3	234.8	7
2	7,825	1,521	3	279.4	14
3	8,604	1,741	5	277.5	17
計	131,515	30,358	63	359.8	267

ホームページ訪問者数と更新回数

②広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の最新情報の P R とともに、体験学習や発掘調査等の活動の参加者へインタビューし、内容を紹介する、是川縄文館の魅力を伝える連載記事。市広報誌「広報はちのへ」において隔月連載（5・7・11・1・3 月号）。99,000 部発行。

- 5 月号：第 55 回 サポートスタッフ研修会
- 7 月号：第 56 回 縄文ラッピングバス運行中！
- 11 月号：第 57 回 発掘レポート 一王寺遺跡
- 1 月号：第 58 回 是川縄文の日
- 3 月号：第 59 回 史跡整備中！



いのるん通信（第 59 回）

③広告掲載

企画展や是川縄文館を P R するため、地元新聞等に広告を掲載した。

案内広告

- ・夏季特別展「行きかう土器とヒト」
 - デーリー東北新聞社（7/12、8/31）
 - 東奥日報社
 - タウン情報企画「情報羅針盤 [コンパス]」
 - 北東北 3 紙観光企画特集 夏編（7/30）
 - 八戸三社大祭企画（7/31）
 - ・秋季企画「食と縄文人」
 - デーリー東北新聞社（10/6、10/13）
 - 東奥日報新聞社
 - 北東北 3 紙観光企画特集（10/8）
 - 菊まつり企画（11/5）
 - タウン情報企画「情報羅針盤 [コンパス]」（11/11）
- 縄文 ZINE

④ B e F M 「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した（2ヶ月に1度）。

⑤ 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展図録等を下記のとおり刊行した。図録は館内ミュージアムショップで販売している。

- ・「掘り day はちのへ - 八戸市埋蔵文化財ニュース -」
第 25 号 A4 版カラー 8 ページ
- ・特別展「行きかう土器とヒト」A4 版カラー 90 ページ
- ・秋季企画展図録「食と縄文人」A4 版カラー 50 ページ
- ・「研究紀要」第 12 号 A4 版モノクロ（一部カラー） 45 ページ



特別展図録「行きかう土器とヒト」

9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。この中には、是川縄文館で展示解説や体験学習指導を行っている縄文是川ボランティアが製作した土器や土偶のレプリカも含まれている。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。令和4年度は、合掌土偶野帳などを新たに追加し、商品の更なる充実を図った。また、7月から千葉学園高等学校生徒が制作した縄文グッズのうち、ヘアゴムとブローチの販売を行っている。

【商品一例】

ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ、土偶及び土器等のレプリカ、お菓子（クッキー、人形焼、せんべいなど）、当館刊行物、考古学関連書籍等。



ミュージアムショップ

② 喫茶コーナー

縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミをふりかけた「縄文ソフトクリーム」等を提供している。特別展の際には火山ガラスをイメージしたトッピングの「ソフトクリーム」を販売した。令和4年12月をもって「縄文カレー」の提供を終了した。「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、491 か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法第 93 条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同 94 条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の 60 日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法第 99 条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行うことがある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会に対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の 4 か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を把握するための確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

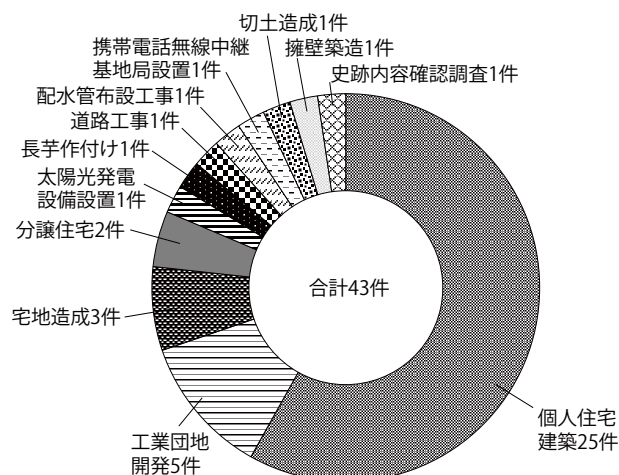
(1) 令和 4 年度の発掘調査

令和 4 年度は、22 か所の遺跡で計 43 件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査 30 件、本発掘調査 12 件（試掘調査後の本調査と工事立会時の遺構精査を含む）、史跡の内容確認調査 1 件である。

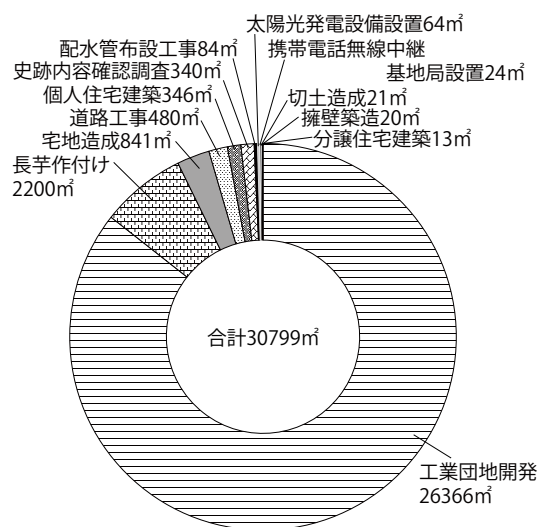
調査原因の種類別では、個人住宅建築 25 件、工業団地開発関連 5 件、宅地造成 3 件、分譲住宅 2 件、史跡内容確認、長芋作付け、太陽光発電設備設置、道路工事が各 1 件、その他切土造成、擁壁築造、携帯電話無線中継基地局設置、配水管布設が各 1 件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴うものが最も多く、全体の 58% を占める。工業団地開発がそれに次ぎ 11% で、個人住宅建築と合わせると全件数の約 7 割である。

調査面積では工業団地開発が最も多く、長芋作付けがこれに次ぐ。工業団地開発の本調査だけでも約 85% を占める。



令和 4 年度調査原因ごとの発掘件数内訳



令和 4 年度調査原因ごとの調査面積内訳

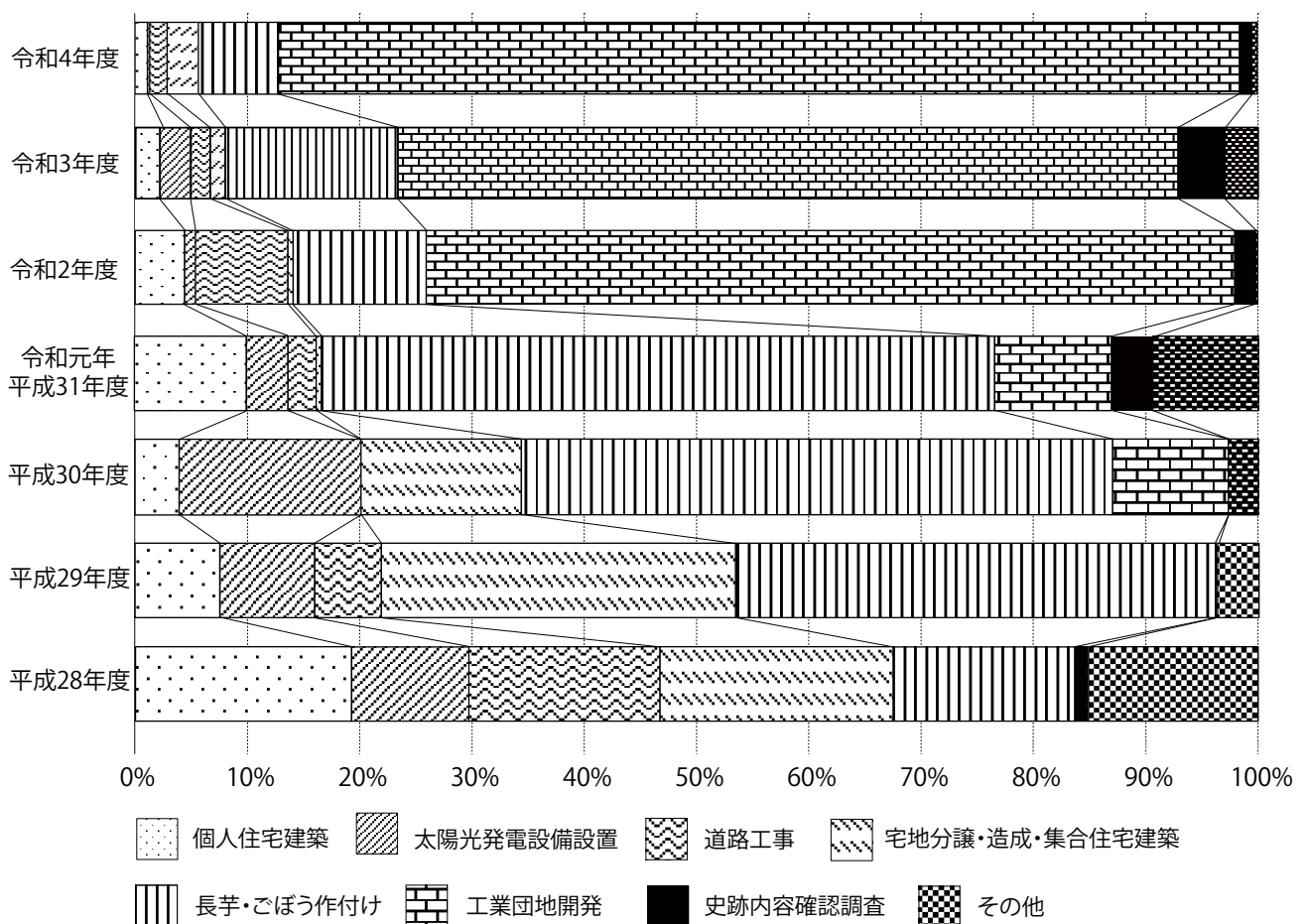
(2) 過年度との比較

令和 4 年度は令和 3 年度と比べて、調査件数はほぼ同じ、調査面積は 2 倍以上に増加した。面積の増加は八戸北インター第 2 工業団地建設の大規模な本調査が行われたことによる。また、個人住宅建築に伴う調査と宅地造成等に伴う調査は令和 3 年度と比べて、件数、面積ともにやや増加した。

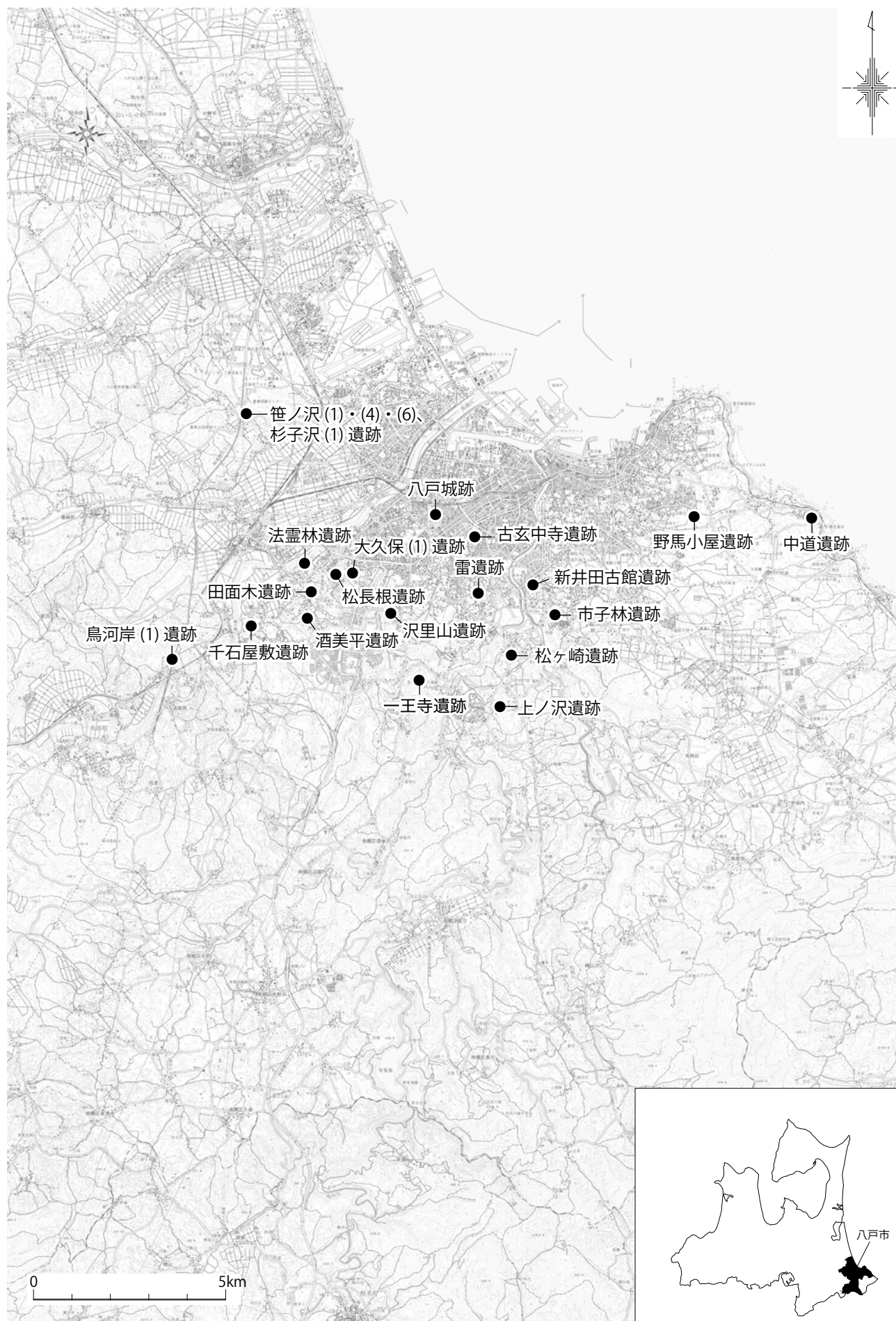
遺跡別の調査件数は市子林遺跡が 7 件と最も多く、次いで田面木遺跡と新井田古館遺跡が各 6 件となった。この 3 遺跡で調査件数の 4 割を越え、調査が特定の遺跡に集中する傾向が顕著であった。

調査原因	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度・令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
個人住宅建築	27	954	21	392	21	276	33	1,086	27	783	20	292	25	346
太陽光発電設備設置	10	518	3	438	10	1,146	9	401	5	170	4	369	1	64
道路工事	4	842	1	308	0	0	1	270	1	1,464	2	237	1	480
宅地分譲・造成、集合住宅・建売住宅建築	5	1,029	2	1,636	4	1,010	2	51	2	80	4	178	5	854
長芋・ごぼう作付	1	800	2	2,215	7	3,722	3	6,480	2	2,103	2	2,077	1	2,200
工業団地開発	0	0	0	0	1	731	1	1,123	2	10,447	5	9,371	5	26,366
史跡内容確認調査	1	61	1	10	0	0	1	400	1	328	1	564	1	340
その他	11	747	8	190	12	2,760	6	1,015	2	32	4	413	4	149
合計	59	4,951	38	5,189	55	9,645	56	10,826	42	15,407	42	13,501	43	30,799

平成 28 ～令和 4 年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成 28 ～令和 4 年度の調査原因ごとの調査面積の推移



令和 4 年度八戸市内発掘調査位置図 (S : 12 万分の 1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別／主な時代
1	新井田古館遺跡①	試掘調査	分譲住宅建築	令和4年4月6日	7.50	集落跡・城館跡／縄文・奈良・平安・中世・近世
2	新井田古館遺跡②	試掘調査	分譲住宅建築	令和4年4月6日	5.50	集落跡・城館跡／縄文・奈良・平安・中世・近世
3	雷遺跡隣接地①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年4月7日	13.00	散布地・集落跡／縄文・奈良・平安・近世
4	野馬小屋遺跡①／野馬小屋遺跡第1地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和4年4月11・12日	64.00	散布地／縄文・弥生
5	千石屋敷遺跡隣接地①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年4月12日	5.70	集落跡／縄文・中世・近世
6	田面木遺跡隣接地①／田面木遺跡第61地点	試掘調査	切土造成	令和4年4月12～14・19日	21.40	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
7	中道遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年4月14日	12.20	遺物包含地／縄文
8	新井田古館遺跡③／新井田古館遺跡第35地点	試掘調査	個人住宅建築	令和4年4月18日	11.55	集落跡・城館跡／縄文・奈良・平安・中世・近世
9	田面木遺跡②	試掘調査	擁壁築造	令和4年4月20日	19.50	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
10	大久保(1)遺跡①	試掘調査	個人住宅建築・土留	令和4年4月25日	12.74	散布地／縄文
11	古玄中寺遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年5月9日	7.50	散布地／縄文
12	雷遺跡②／雷遺跡第14地点	試掘調査	宅地造成	令和4年5月9日～6月16日	584.00	散布地・集落跡／縄文・奈良・平安・近世
13	法霊林遺跡隣接地①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年6月22日	6.00	集落跡／縄文・奈良・平安
14	酒美平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年7月21日	8.50	集落跡／縄文・飛鳥・奈良
15	新井田古館遺跡④／新井田古館遺跡第34地点	試掘調査	個人住宅建築	令和4年8月22～24日	16.85	集落跡・城館跡／縄文・奈良・平安・中世・近世
16	田面木遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和4年8月23日	24.00	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
17	市子林遺跡①／市子林遺跡第26地点	試掘調査	宅地造成	令和4年8月24日	16.50	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
18	市子林遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和4年8月25日	4.50	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
19	新井田古館遺跡⑤	試掘調査	個人住宅建築	令和4年10月18日	1.46	集落跡・城館跡／縄文・奈良・平安・中世・近世
20	松長根遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和4年11月16・17日	5.00	散布地／縄文
21	市子林遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和4年11月25・28日	11.00	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
22	市子林遺跡④	試掘調査	個人住宅建築	令和4年12月7日	9.00	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
23	田面木遺跡④	試掘調査	個人住宅建築	令和4年12月8日	12.00	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
24	沢里山遺跡①	試掘調査	個人住宅建築 道路舗装工事	令和4年12月9・13日	11.00	散布地／縄文・奈良・平安
25	市子林遺跡⑤	試掘調査	個人住宅建築	令和4年12月10日	0.36	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
26	上ノ沢遺跡①	試掘調査	個人住宅建築 擁壁設置	令和5年2月21日	10.00	散布地／縄文・奈良・平安
27	田面木遺跡⑤	試掘調査	個人住宅建築	令和5年2月28日	8.00	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
28	市子林遺跡⑥	試掘調査	個人住宅建築	令和5年3月7日	9.50	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
29	鳥河岸(1)遺跡①	試掘調査	携帯電話無線中継基地局設置	令和5年3月7～10日	24.00	散布地／縄文・奈良・平安・中世・近世
30	酒美平遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和5年3月14～16日	26.00	集落跡／縄文・飛鳥・奈良
31	新井田古館遺跡第33地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和4年9月12～15日	37.50	集落跡・城館跡／縄文・奈良・平安・中世・近世
32	市子林遺跡第26地点	工事立会	宅地造成	令和4年6月21日～8月8日	240.00	集落跡／縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世
33	千石屋敷遺跡第9地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和4年5月17～30日	71.10	集落跡／縄文・中世・近世
34	松ヶ崎遺跡第11地点	本発掘調査	長芋作付け	令和4年6月9日～12月13日 令和5年3月7～28日	2,200.00	集落跡・貝塚／縄文・奈良・平安
35	酒美平遺跡第20地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和4年8月4～9日	11.50	集落跡／縄文・飛鳥・奈良
36	一王寺遺跡	確認調査	史跡内容確認	令和4年5月6日～8月8日	340.00	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安・近世
37	田面木遺跡第60地点	本発掘調査	配水管布設工事	令和4年6月27日～7月8日	84.00	集落跡／縄文・弥生・奈良・平安
38	八戸城跡第54地点	本発掘調査	道路改良工事	令和4年9月1日～10月26日	480.00	集落跡・城館跡／縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近世・近代
39	笹ノ沢(1)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和4年4月4日～8月1日	7,135.00	散布地／縄文・平安
40	杉子沢(1)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和4年4月4日～8月1日	7,662.00	集落跡／縄文・平安
41	笹ノ沢(6)遺跡第1地点	本発掘調査	工業団地開発	令和4年6月1日～9月6日	1,190.00	集落跡／縄文・奈良・平安
42	笹ノ沢(6)遺跡第2地点	本発掘調査	工業団地開発	令和4年6月1日～11月22日	2,879.00	集落跡／縄文・奈良・平安
43	笹ノ沢(4)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和4年8月22日～11月30日	7,500.00	集落跡／縄文・奈良・平安

令和4年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

2. 調査概要

(1) 主な試掘調査

①雷遺跡第 14 地点 (p.25-No.12)

調 査 地：八戸市大字田向字檀ノ平 15 番 2、15 番 7、
18 番 1、18 番 3、24 番 1 の一部、24 番
2、25 番

担当職員：小笠原 善範・山田 貴博

調査概要：

ア．遺跡の概要

本遺跡は、市の中心部から南東に 2.4km の地点に位置し、新井田川左岸の標高 15 ～ 30 m の段丘上に立地する。本遺跡では平成 25 年度から主に個人住宅建築を中心に開発が増加しており、発掘調査成果が蓄積され始めている。これまでに 13 地点の調査を行っており、主に飛鳥～奈良時代・平安時代の竪穴建物跡や、中近世の掘立柱建物跡等を検出している。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の南東側に位置し、北西から南東に下る緩斜面に立地し、現況は畑地となっている。宅地造成に伴い、令和 4 年 1 月 6 日付けで文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。届出に基づき、令和 4 年 5 月 9 日から 6 月 16 日まで試掘調査を実施した。調査面積は 584㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 溝状土坑 13 基

【古 代】 竪穴建物跡 7 棟、溝跡 3 条、
ピット 8 基

【近 世】 ピット 5 基

エ．出土遺物

【古 代】 土師器

【近 世】 陶磁器

オ．調査成果

遺構は、中振浮石を含む黒褐色土層～黄褐色ローム層で確認しており、28 トレンチのみ八戸火山灰層を確認面としている。3 ～ 7・9・10 トレンチから竪穴建物跡、11 トレンチから土坑、1・14・16 ～ 18・20・22・24・25 トレンチから溝状土坑、23・26・28 トレンチから溝跡、14・24・25・27 トレンチからピットを検出した。

検出遺構については、遺構確認のみであるため帰属時期は判然としないが、竪穴建物跡は遺構確認面から土師器片が出土していることや遺構の形状から、古代のものと推定される。土坑・溝跡・ピットは、調査区内から土師器片及び陶磁器片が出土していることから、古代あるいは近世とみられる。溝状土坑は、遺構の形状から縄文時代に帰属する可能性が高いと考えられる。

今回の調査では、主に縄文時代・古代・近世とみられる遺構を検出した。本地点は、古代・近世の集落跡が確認されている第 5 地点の南側に位置しており、同時期の集落が広がることが予想される。

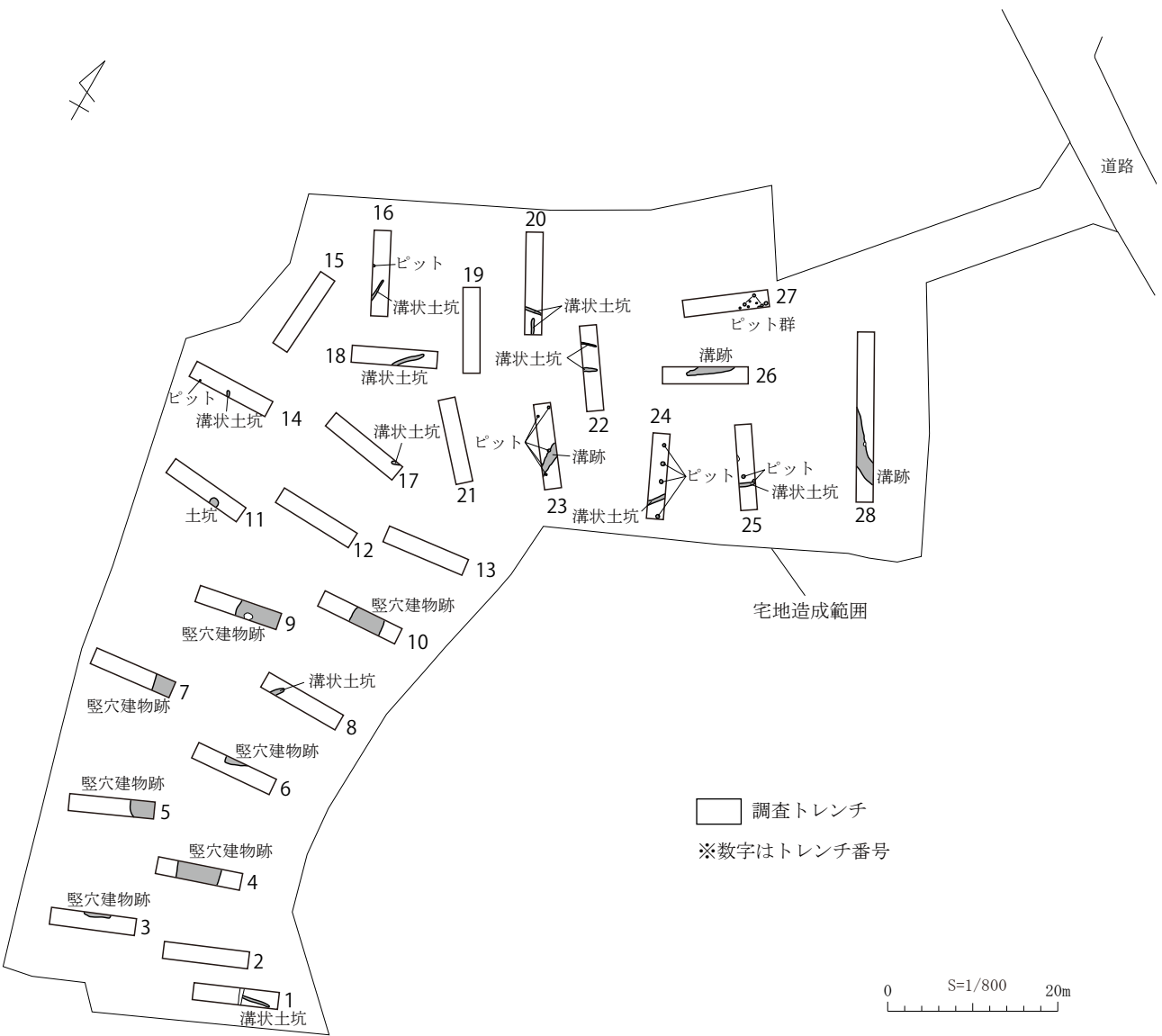
調査の結果、開発予定範囲全体に遺構が広がっていることを確認したことから、今後、本地点で掘削を伴う工事が行われる場合には、事前に本発掘調査が必要となる。



雷遺跡第 14 地点 調査前



雷遺跡第 14 地点 トレンチ完掘状況



遺構配置図 雷遺跡第 14 地点



9 トレンチ 遺構検出状況



18 トレンチ 遺構検出状況



28 トレンチ 遺構検出状況

(2) 本発掘調査

①松ヶ崎遺跡第 11 地点 (p.25-No.34)

調 査 地：八戸市大字十日市字長根 13-1

担当職員：宇庭 瑞穂・小笠原 善範

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市中心部から南東約 4km に位置する。遺跡の西側を流れる新井田川とその支流の松館川に挟まれた標高 27 ～ 45m の台地上に立地する。

令和 3 年度までに八戸市教育委員会による 21 地点の調査と、青森県教育委員会による 4 地点の発掘調査が行われ、市内最大規模の縄文時代前～中期の集落跡と判明している。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡中央部に位置し、西から東へ下る緩傾斜地に立地し、現況は荒蕪地である。長芋作付けに伴い、平成 30 年 6 月 5 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。本地点西側は平成 13 年度に試掘調査が行われ、遺構が複数重複することが確認されている。未調査の東側を平成 30 年 6 月 14 日～7 月 4 日に試掘調査を行ったところ、遺構密度が希薄であることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、開発範囲約 8,622㎡を 6 区画に分割し本発掘調査を実施することで合意した。令和 4 年度の調査期間は令和 4 年 6 月 9 日～12 月 16 日および令和 5 年 3 月 7 ～ 28 日、調査面積は約 2,200㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 竪穴建物跡 17 基、掘立柱建物跡 3 棟、土坑（フラスコ状土坑）2 基、盛土遺構ほか

【古 代】 竪穴建物跡 1 棟

【時期不明】 土坑 1 基、溝跡 1 条

エ．出土遺物

【縄文時代】 縄文土器、石器、石製品、土製品

【古 代】 土師器、土製品

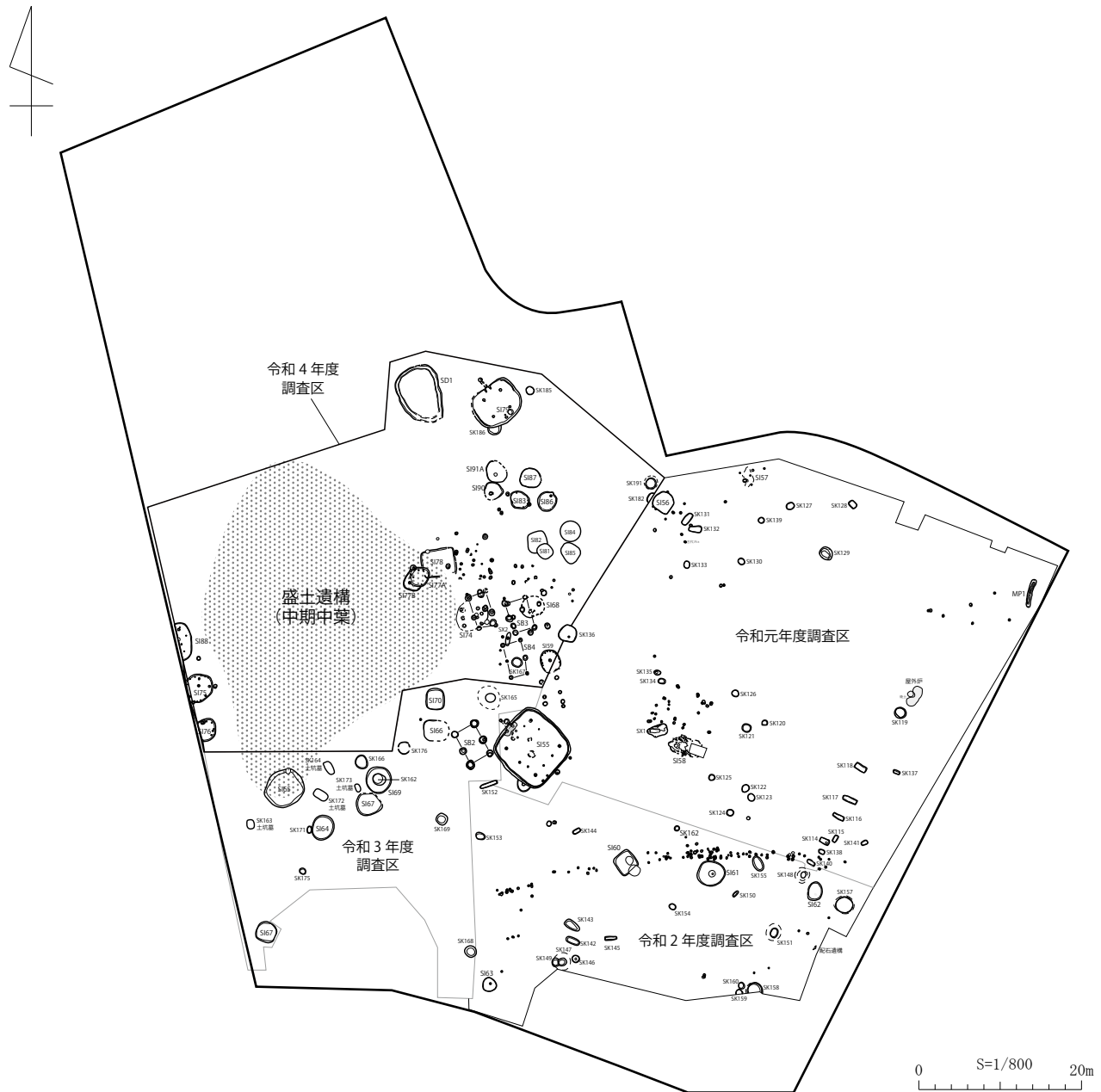
オ．調査成果

今年度調査区のほぼ全域で、縄文時代の竪穴建物跡や掘立柱建物跡、土坑（フラスコ状土坑）、盛土遺構などの遺構を多数検出した。遺構は複雑に重複しており、遺構の時期は縄文時代中期中葉が主体である。一部の竪穴建物跡や土坑などでは、廃絶後の凹地を利用して、遺物が廃棄されている様子なども確認している。

また調査区西側では、遺物を多量に含む盛土遺構が、広い範囲で分布することを確認した。盛土遺構は縄文時代中期中葉の遺物が主体で、堆積土には多量の縄文土器や石器のほか、焼土やロームブロック、炭化種子（クルミ）や炭化材、動物骨などが含まれる。



松ヶ崎遺跡第 11 地点 盛土遺構 遺物出土状況（南東から）



遺構配置図 松ヶ崎遺跡第 11 地点



SI77a・b 竪穴建物跡 (東から)



SI81 竪穴建物跡 遺物出土状況 (東から)

②笹ノ沢 (6) 遺跡第 2 地点 (p.25-No.42)

調査地：八戸市大字尻内町字笹ノ沢 66- 1 の一部、
66- 2 の一部、66- 3 の一部、66- 4 の一部、
66- 5 の一部、66- 6 の一部、66- 7 の一部、
66- 8 の一部、66- 9 の一部、67- 1 の一部、
67- 2 の一部、67- 3 の一部

担当職員：上ノ山 拓己・宇部 則保

調査概要：

ア．遺跡の概要

笹ノ沢 (6) 遺跡は、八戸市中心部から北西約 5.5 km の、南側を浅水川と馬淵川に、北側を五戸川に挟まれた標高 70 m 前後の丘陵に立地し、馬淵川へと合流する沢頭の周辺に位置する。

本遺跡は、八戸北インター第 2 工業団地の開発に先立ち、予定地内で確認調査を行った際に確認した遺跡である。

イ．調査に至る経緯

本地点は遺跡の東側に位置し、北西から南東に下る緩斜面に立地する。調査前は畑地であった。工業団地開発に伴い、平成 30 年 8 月 20 日付けで文化財保護法第 94 条第 1 項に基づく通知が八戸市教育委員会に提出された。通知を受けて、平成 30 年から令和 3 年まで埋蔵文化財の確認調査を実施した結果、通知時点の埋蔵文化財包蔵地外にも遺構・遺物が確認されたため、令和 3 年に笹ノ沢 (6) 遺跡として新規登録された。

確認調査の結果をもとに原因者と協議したところ、本発掘調査を行うことで合意したため、令和 3 年度と令和 4 年度で本発掘調査を実施した。令和 3 年度の調査では、奈良時代の竪穴建物跡を 5 棟と平安時代の竪穴建物跡を 2 棟検出した。

令和 4 年度の調査期間は令和 4 年 6 月 1 日から 11 月 22 日まで、調査面積は 2,879m²である。

ウ．検出遺構（令和 4 年度調査分）

- 【縄文時代】 竪穴建物跡 2 棟・土坑 1 基
- 【古代】 竪穴建物跡 5 棟
- 【時期不明】 土坑 4 基

エ．出土遺物（令和 4 年度調査分）

- 【縄文時代】 縄文土器（早期・後期）・石器
- 【古代】 土師器（奈良）・須恵器・土製品・
石製品・鉄製品

オ．調査成果

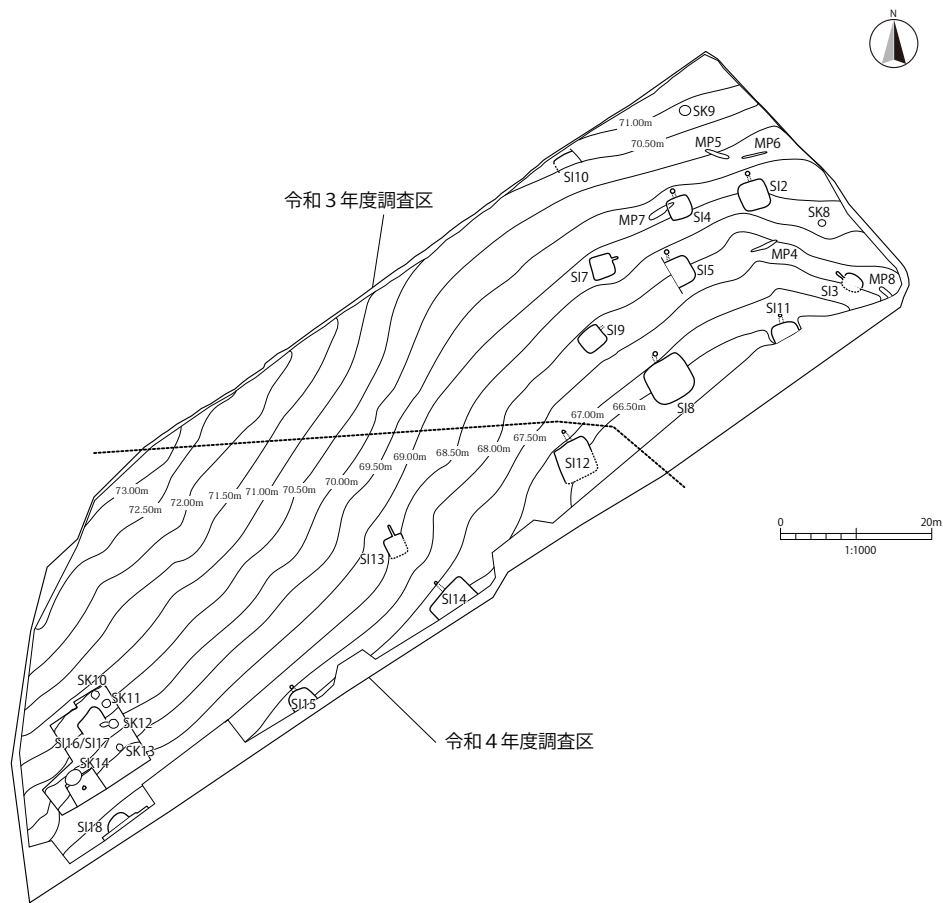
令和 4 年度の調査では、遺跡の調査区南西端で縄文時代の竪穴建物跡を 2 棟検出した。このうちの 1 棟（SI17 竪穴建物跡）は、約 3 m の楕円形を

呈し、壁際に柱を立てた穴が確認された。炉跡は確認されなかった。床面から縄文時代早期後葉の特徴を持つ土器が出土した。もう 1 棟の竪穴建物跡（SI18 竪穴建物跡）は、直径約 3 m の円形を呈し、建物中央に炉跡を確認した。遺構埋土中から縄文時代後期初頭とみられる土器が複数個体分出土した。

古代の竪穴建物は 5 棟検出し、時期はすべて奈良時代であった。奈良時代の竪穴建物跡は、一辺 3～6 m の方形で、いずれも北側の壁の中央にカマドが設けられている。支柱穴は一辺 6 m 前後の竪穴建物跡にだけみられ（SI12 竪穴建物跡など）、それを下回る規模の建物跡では確認できなかった。また、竪穴建物跡の分布が調査区南側に集中していることから、古代の集落は南側にさらに広がると考えられる

笹ノ沢 (6) 遺跡は、竪穴建物跡の時期をもとにすると①縄文時代早期→②縄文時代後期→③古代と断続的に人が暮らしていたことがわかった。特に、奈良時代の竪穴建物跡を 12 棟検出したことから、この地点では奈良時代が最も人びとが活動した時期であったと考えられる。また、竪穴建物跡からは奈良時代の鋤先など農耕に関わる道具が出土していることから、人びとは農耕を生業として暮らしていたと考えられる。

笹ノ沢 (6) 遺跡が立地する丘陵上では、工業団地の開発などに伴って奈良時代の集落遺跡の調査が続いている。周辺遺跡の調査成果と比較検討することで、馬淵川北岸地域の奈良時代の集落動態をより詳しく知ることができると見込まれる。



笹ノ沢 (6) 遺跡第 2 地点 調査区



笹ノ沢 (6) 遺跡調査区 遠景



笹ノ沢 (6) 遺跡 空撮



SI18 竪穴建物跡 遺物出土状況



SI12 竪穴建物跡

③八戸城跡第 54 地点 (p.25-No.38)

調 査 地：八戸市内丸 1 丁目 14-17 地先

担当職員：山田 貴博

調査概要：

ア．遺跡の概要

馬淵川右岸の沖積低地に突き出た標高約 20m の段丘北縁に立地し、北側がその段丘崖となっている。遺跡の範囲は東西 580m、総面積 229,000㎡に及ぶ。現況は、遺跡西側に八戸市庁・八戸市公会堂・三八城公園等の公共施設があり、東側は宅地化している。これまで、53 地点の発掘調査が行われており、近世城郭期の遺構の他、縄文時代・弥生時代・古墳時代・奈良時代・平安時代の遺構・遺物が確認される複合遺跡として周知されている。

八戸城は、盛岡藩主南部利直の時代に築城されたと伝えられている。寛文 4 (1664) 年、八戸藩成立後は藩主の居城として定められ、明治 4 (1871) 年の廃藩置県後に廃城となるまで、八戸藩主の居城・藩庁として機能したとされている。

現在の三八城神社、三八城公園敷地を中心とする本丸、八戸市公会堂から南部会館、電神社等がある二の丸から構成されている。本丸は、東西約 150m、南北約 200m で四方を土塁と堀に囲まれており、南東側に大手御門、北東側に裏御門があったとされている。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡中央西側に位置している。まちづくり推進課による本八戸駅通り地区整備事業に係る発掘調査で平成 25 年度から断続的に調査を行なっている。調査期間は令和 4 年 9 月 1 日から 10 月 26 日、調査面積は約 480㎡である。

ウ．検出遺構

【近 世】 堀・柵跡 4 条、溝跡 3 条、門跡 1 基

【時期不明】 溝跡 1 条

エ．出土遺物

【古 代】 土師器

【近 世】 瓦、鉄製品

オ．調査成果

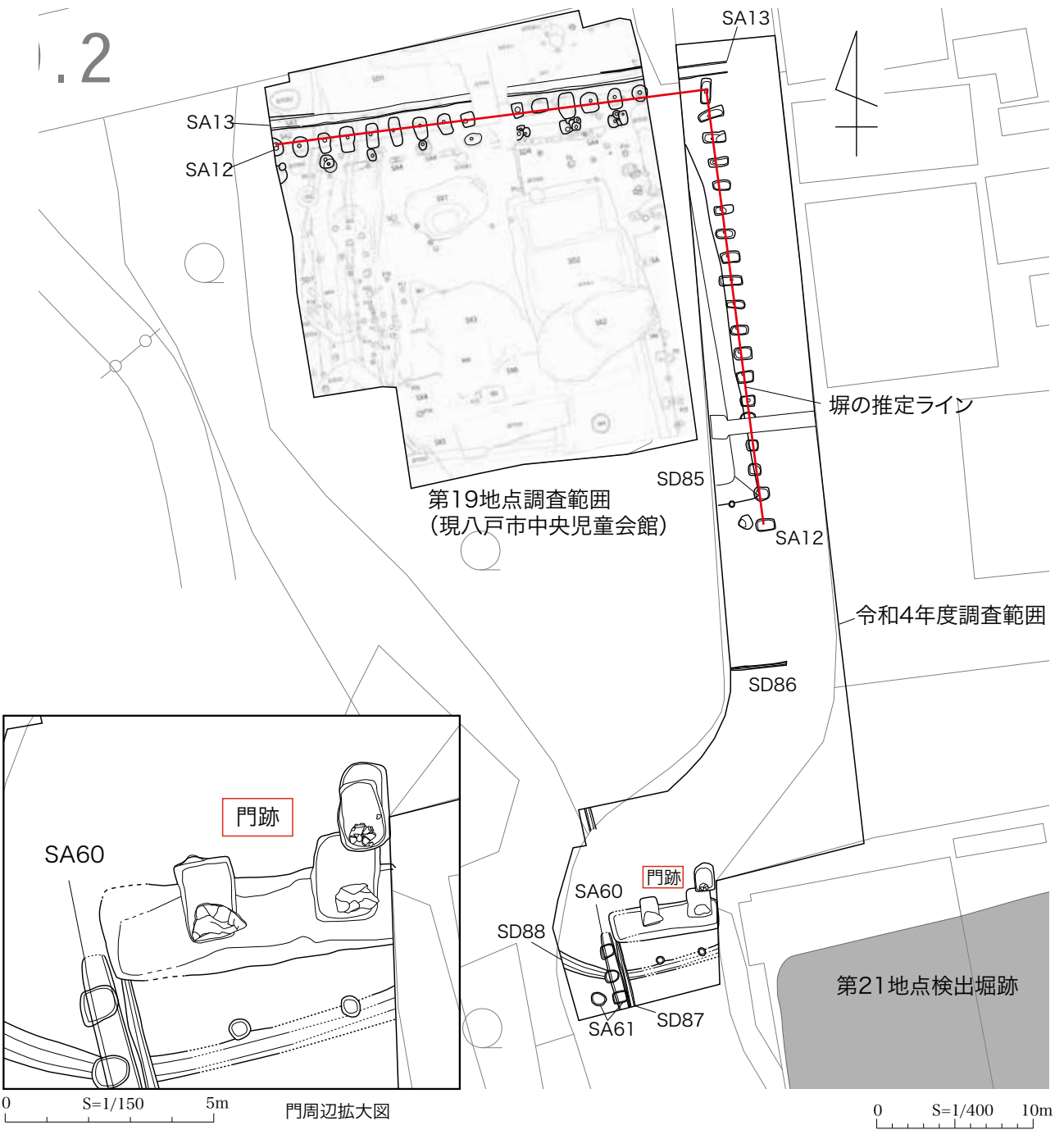
堀跡は断面形が箱形の溝状のものと穴を掘って柱を立ててつくられたものがみつかった。柱跡がみつかったものは、それらの間隔が約 1.5m とほぼ等間隔で均等に並んでおり、控柱とみられる柱穴も確認された。

門跡は、幅 2m、長さ 7m の溝と柱穴からなる掘立柱の門と考えられる。現地表面より深さ 1.6m のところから根石が 2 個みつき、門の幅は約 3.4m であったと考えられる。

みつかった遺構は、絵図面等の資料から位置関係や規模を検討した結果、八戸城本丸の大手御門とその周辺の堀と考えられる。発掘成果で歴史資料の裏付けができたことは、非常に大きな成果と言える。しかし、絵図面には描かれていない溝などの遺構も確認されており、門の構造や今回みつかった遺構の時期関係など、検討すべき課題がある。



調査地点遠景 八戸城跡第 54 地点 (北から)



遺構配置図 八戸城跡第 54 地点



堀跡確認状況 (西から)



大手御門検出 (南から)

3. 発掘調査報告書

令和 4 年度には、発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計 3 冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	田面木遺跡第 60 地点 - 配水管布設替工事に伴う発掘調査報告書 -	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 182 集	田中美穂・山田貴博	令和 5 (2023) 年 3 月 15 日
	所収遺跡名：田面木遺跡第 60 地点				
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書 47	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 183 集	田中美穂・上ノ山拓己・ 宇庭瑞穂・山田貴博・ 小笠原善範	令和 5 (2023) 年 3 月 24 日
	所収遺跡名：野馬小屋遺跡第 1 地点、田面木遺跡第 61 地点、雷遺跡第 14 地点、市子林遺跡第 26 地点、 新井田古館遺跡第 33 地点・第 34 地点・第 35 地点、千石屋敷遺跡第 9 地点、酒美平遺跡第 20 地点				
3	八戸市内遺跡発掘調査報告書 48 史跡是川石器時代遺跡 一王寺遺跡史跡内容確認調査概要報告書	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 184 集	宇庭瑞穂	令和 5 (2023) 年 3 月 24 日
	所収遺跡名：一王寺遺跡				

4. 情報公開

(1) 令和 4 年度遺跡調査報告会

令和 4 年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。令和 4 年度は、調査報告（1 階体験交流室）の聴講者を事前申込による先着 50 名と限定した。

また、令和 2 年度に制定した「是川縄文の日」の 11 月 3 日（木・祝）にも報告遺跡の出土品展示を行った。

開催日時：令和 4 年 11 月 12 日（土）

14：00～15：30

報告内容：

【報告遺跡】14：00～15：30

- ・松ヶ崎遺跡（大館地区 縄文時代）
- ・一王寺遺跡（是川地区 縄文時代）
- ・笹ノ沢（6）遺跡ほか（上長地区 縄文・古代）
- ・八戸城跡（三八城地区 江戸時代）

【主な展示】9：00～17：00

- ・松ヶ崎遺跡の縄文土器、石製品など
- ・一王寺遺跡の縄文土器、石器など
- ・笹ノ沢（6）遺跡の土師器、石製品、鉄製品など
- ・八戸城跡の瓦、根石の模型など



出土品展示会場の様子



調査報告の様子

5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業

- 事業計画** 重要文化財「是川遺跡出土品」の保存修理及び保存台の作成を行う。(第1期：平成24～28年度、第2期：平成29～令和2年度、第3期：令和3～6年度)
- 期 間** 令和4年5月26日～令和5年3月24日
- 概 要** 平成23年に是川遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を実施しているが、欠損部分や脆弱な部分が認められる。土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離などが認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用に供するため、保存修理を実施する。また、広く周知するため、事業内容を紹介するリーフレットを作成・配布する。なお、本事業では八戸市博物館所蔵の丹後平古墳群出土品の保存修理も実施している。
- 内 容** 台付土器3点、漆製品8点、計11点の保存修理を実施している。
- 受託者** (株)吉田生物研究所(京都府)
- 事業費** 10,056千円(50%国庫補助。丹後平古墳群出土品にかかる費用を含む。)



土器修理前



土器に樹脂を充填



土器修理後

重要文化財鉢形土器修理状況

6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理

- 事業計画** 過去に八戸市内の遺跡から出土した鉄製品の保存処理を実施する。
- 期 間** 令和4年5月26日～令和5年3月24日
- 内 容** 鉄製品計6点の保存処理を実施した。
- 受託者** (株)吉田生物研究所(京都府)
- 事業費** 660千円(50%国庫補助)



保存処理完了後の鋤先

7. 埋蔵文化財活用活性化事業

- 事業計画** 平成25年から30年度まで国庫補助事業で行った出土品の収蔵整理及びデータベース化を、平成31・令和元年度より市単独事業で継続している事業の4年目である。
- 期 間** 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 概 要** 収蔵資料の体系化を目的とし、収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納を実施した。
- 事業費** 5,807千円
- 内 容** 令和4年度発掘調査で出土した遺物のうち整理作業が終了した資料、計145点のデータベース化を行った。

V 史跡整備

1. 史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備事業

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究の成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。

＜これまでの実績＞

平成 27 年度 「史跡是川石器時代遺跡保存活用計画」策定

平成 29 年度 「是川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」策定

＊是川石器時代遺跡を構成する 3 遺跡のうち、内容確認が最も進んでいる中居遺跡を対象とする

平成 30 年度 地形測量、第 1 期整備実施設計

令和元年度 第 1 期整備工事開始

＊史跡内の既存建物解体工事

令和 4 年度は、旧八戸市歴史民俗資料館（昭和 49 年築）地下部分除却工事と中居遺跡内の不要樹木伐採を行った。除却工事及び伐採は、文化財保護法第 125 条第 1 項の規定に基づく史跡の現状変更の許可を受けるとともに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産としての遺産影響評価を検討した上で行った。

除却工事に先立ち、建物基礎の間に残されている縄文時代の遺構の確認調査を行ったところ、土坑 14 基と縄文時代の遺物包含層を確認した。表土・包含層からは、縄文時代後期から晩期の土器が出土している。検出した遺構は、山砂による保護層を設け、埋め戻しを行った。なお、工事は当館職員立会いのもと慎重に進め、史跡のき損防止に努めている。

不要樹木伐採では、中居遺跡内の植栽のうち、縄文時代の北東北の植生に合致しないサクラやマツ、ツツジ、イチイ生垣など 140 本を伐採した。今後、遺構保護のための盛土工事を行い、トチやクリなどの植栽を行って、縄文時代晩期のムラの景観を復元していく。



解体工事中



中居調査空撮



整備調査風景

2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて4月から10月にかけて除草を実施した。

①ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面 積 約 13,700㎡
期 間 4月20日～10月31日
受託者 八戸市森林組合
事業費 1,155 千円

②除草（分館敷地・是川遺跡記念碑）

面 積 約 16,000㎡
期 間 5月10日～10月31日
受託者 （株）昂造園建設
事業費 2,475 千円

③除草（一王寺遺跡地内）

面 積 約 68,100㎡
期 間 6月27日～10月31日
受託者 八戸市森林組合
事業費 2,530 千円

○世界遺産登録

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、史跡是川石器時代遺跡をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群（以下縄文遺跡群）」の世界遺産登録を目指し、令和3年7月27日に縄文遺跡群の世界遺産一覧表の「記載（登録）」が決定した。

縄文遺跡群の適切な保存管理のため、縄文遺跡群世界遺産本部のもと、協議会・青森県部会・専門家委員会で包括的保存管理体制、構成資産の経過観察や遺産影響評価等の協議を進めている。令和2年度から継続して実施している経過観察を実施し、庁内関係課で組織する「史跡是川石器時代遺跡保存活用連絡会議」の連携により年次報告書を作成した。また、遺産影響評価を本格的に実施し、令和4年度は構成資産内2件、緩衝地帯内3件の評価を行った。構成資産内の2件は、史跡整備に伴うものであり、資産に与える影響は一時的であると評価した。

○登録1周年記念行事

登録1周年を迎えた7月27日から、手ぬぐい・ピンバッジ・うちわ・クリアファイルなど、世界遺産関連の記念品約1,000個を配布した。



除草するヤギ

3. 一王寺遺跡内容確認調査

調 査 地：八戸市大字是川字一王寺 2-1、2-3 の一部、2-6 の一部、7-1 の一部、7-2 の一部、8-1 の一部、8-2 の一部、8-7 の一部

担 当 職 員：宇庭 瑞穂・佐藤 ちひろ

検 出 遺 構：竪穴建物跡、土坑（フラスコ状土坑）、溝跡、埋設土器、盛土遺構（縄文時代前期中葉～中期中葉）
捨て場（縄文時代後期初頭～前葉）、性格不明遺構

出 土 遺 物：縄文土器（前～後期）、土製品、石器、石製品、動物遺存体など

調 査 概 要：

一王寺遺跡は、中居遺跡・堀田遺跡を含む「史跡是川石器時代遺跡」のひとつで、縄文時代前期から後期にかけての集落跡である。

史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備計画に基づき、一王寺遺跡の遺構分布確認調査を令和元年度から 6 か年計画で実施しており、本年度はその 4 年目である。

今回の調査では、約 8,000㎡を対象に調査を行い、縄文時代前期中葉から後期前葉までの竪穴建物跡や土坑（フラスコ状土坑を含む）などの遺構を検出した。

遺跡南側の斜面では、縄文時代前期中葉から中期中葉までの遺物を多量に含む盛土遺構が広範囲で分布することを確認した。盛土遺構からは、多量の縄文土器や石器、石製品などが出土したほか、堆積土中にクリなどの炭化材や焼土、動物骨（イノシシ未萌出歯など）が含まれていた。



261 トレンチ捨て場（盛土） 遺物出土状況

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 令和 4 年度是川縄文館運営協議会

期日 【第 1 回】令和 4 年 6 月 30 日

【第 2 回】令和 5 年 2 月 9 日

会場 是川縄文館 2 階研修室

委員 岡村道雄（会長）、高田和徳（副会長）、
山下治子、石川宏之、吉田晃、鈴木規夫

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・博物館経営・広報等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。4 年度は任期満了に伴い 6 名の委員が再任され、第 1 回会議において、岡村会長、高田副会長が選出された。第 1 回では、令和 3 年度事業報告及び是川縄文館の中長期目標についての報告が行われ、第 2 回では令和 5 年度事業計画の説明と自己点検評価を踏まえた事業計画の改訂について、意見・助言があった。



運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第 11 回】令和 4 年 6 月 29 日

【第 12 回】令和 5 年 2 月 10 日

会場 是川縄文館 1 階会議室

委員 岡村道雄（会長）、辻誠一郎（副会長）
高田和徳、馬場光久、*オブザーバー：
青森県教育委員会文化財保護課

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備事業について、基本方針、計画、内容等を定めることを目的に有識者による検討を行う委員会。第 11 回・第 12 回ともに第 1 期整備事業の進捗について報告・検討を行った。政策決定に係る内容を含むため、会議は非公開とした。



第 12 回整備検討委員会 現地視察

(3) 令和 4 年度是川縄文館懇談会

期日 令和 5 年 3 月 16 日

会場 是川縄文館 2 階研修室

出席者 中居町内会 是川団地連合会

八戸縄文保存協会 是川文化財愛護会

縄文是川ボランティア 是川縄文館職

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携を得るための会合。令和 4 年度の事業報告、令和 5 年度事業計画等の説明をもとに連携の進め方について協議した。出席者からは、史跡案内板や樹木管理などについて質問が出された。



是川縄文館懇談会

3. 日記抄

月/日 事項

- | | | | |
|------|--|------|---|
| 4/3 | 見学：個人（2人） | | |
| 4/5 | 見学：八戸縄文保存協会（1人）
取材：デーリー東北新聞社（1人）/東奥日報社（1人）/読売新聞八戸支局（1人）/NHK青森放送局（3人）/八戸テレビ放送（1人） | 5/26 | 見学：クラブツーリズム関西（株）（10人）/中泊町立中里小学校3学年（58人） |
| 4/6 | 見学：個人（1人） | 5/27 | 滑石の勾玉作り・見学：南部町立名久井小学校6学年（31人）
見学：クラブツーリズム（株）（19人）/個人（6人） |
| 4/12 | 見学：個人（2人） | 5/28 | これかわ考古学クラブ開講式（9人）
サポートスタッフ研修会③（23人）
見学：八戸縄文保存協会（1人） |
| 4/13 | 取材：（一財）共同通信社（1人） | 5/29 | 見学：（株）ACプロモート（11人）/八戸縄文保存協会（1人）/（株）ワールド航空サービス（19人） |
| 4/14 | 見学：ニチレキ（株）（2人）
視察：（株）デザインセンター（1人） | 5/31 | 見学：青森県立八戸第一養護学校高等部2・3学年（13人）/東京鉄鋼（株）（8人） |
| 4/20 | 見学：弘前大学教育学部附属中学校3学年（105人）/八戸中央青果（株）（5人）/フラワー観光（株）（33人） | | |
| 4/21 | 見学：個人（1人）
取材：（株）えんれいしゃ（3人） | 6/1 | 視察：外ヶ浜町教育委員会（4人） |
| 4/23 | 見学：個人（2人）
視察：平川市文化センター（2人） | 6/2 | 見学：西北労働基準協会（11人）/八戸市立湊中学校2学年（32人） |
| 4/28 | 見学：平川市立平賀東中学校2学年（54人） | 6/3 | 見学：個人（1人） |
| 4/29 | 見学：八戸縄文保存協会（1人）/個人（12人） | 6/4 | これかわ考古学クラブ①（8人）
取材：朝日新聞青森総局（1人） |
| 4/30 | 見学：クラブツーリズム（株）（15人） | 6/5 | 見学：（株）ユーラシア旅行社（18人）/オリナス（1人）/個人（4人）/（株）ワールド航空サービス（19人） |
| 5/1 | 見学：八戸縄文保存協会（1人） | 6/6 | 見学：八戸市立南郷小学校3・4学年（39人） |
| 5/3 | 滑石でペンダント作り教室（24人） | 6/7 | 取材：（株）カピケーラ |
| 5/4 | 見学：個人（5人）/個人（2人） | 6/8 | 見学：クラブツーリズム（株）（17人） |
| 5/6 | 見学：個人（2人）/八戸縄文保存協会（1人）/クラブツーリズム（株）（17人） | 6/9 | 見学：八戸縄文保存協会（1人）/八戸聖ウルスラ学院高校3学年（5人）/個人（8人） |
| 5/7 | サポートスタッフ研修会①（21人）
見学：個人（11人） | 6/10 | 見学：（株）たびせん・つなぐ（9人）/クラブツーリズム（株）（21人） |
| 5/11 | 見学：クラブツーリズム（株）（10人）
視察：青森県観光企画課（3人） | 6/11 | 入館者30万人セレモニー
サポートスタッフ研修会④（19人）
見学：津軽人文自然科学研究会（13人） |
| 5/12 | 見学：クラブツーリズム（株）（15人）
視察：山形県立博物館（1人）
取材：星野リゾート「みちくさガイド」（2人） | 6/12 | 見学：（株）マガジンハウス（1人）/古代碑研究会（12人）/SHAKE（20人）/（株）ワールド航空サービス（15人） |
| 5/13 | 見学・滑石の勾玉作り：五戸町立上市川小学校6学年（17人）
見学：クラブツーリズム（株）（13人）/クラブツーリズム（株）（24人）/クラブツーリズム（株）（18人）
視察：青森県庁（3人）
取材：（有）サウンドクリエイト（3人） | 6/14 | 滑石の勾玉作り・見学：向陵高等学校1～3学年（27人）
取材：（株）MBS企画（11人） |
| 5/14 | 考古学講座①（51人）
見学：（株）ワールド航空サービス（13人）/八戸タクシー（1人）
視察：人文知応援フォーラム（14人） | 6/15 | 取材：JR盛岡支社観光推進室（3人）
下見：高岩児童館（3人） |
| 5/15 | 見学：八戸縄文保存協会（1人） | 6/16 | 見学：認定こども園マリアンハウス（28人）/クラブツーリズム（株）（19人） |
| 5/17 | 滑石の勾玉作り：青森県立八戸第一養護学校高等部（9人） | 6/17 | 視察：外ヶ浜町教育委員会（4人）
取材：（株）MBS企画（3人） |
| 5/19 | 見学：（株）道新サービスセンター（16人）/弘南観光バス（株）（1人）/八戸縄文保存協会（1人） | 6/18 | 考古学講座②（49人）
見学：縄文是川ボランティア（2人）/8TRIPS（16人）/八戸縄文保存協会（2人）
視察：平川市郷土資料館（22人） |
| 5/20 | 下見：北海道教育大学函館校（1人） | 6/19 | 見学：（株）ユーラシア旅行社（16人）/八戸縄文保存協会（1人）/平川市郷土資料館（20人） |
| 5/21 | サポートスタッフ研修会②（22人）
見学：クラブツーリズム（株）（12人） | 6/22 | 見学：三沢市あおぞら小学校（15人） |
| 5/22 | 見学：（株）西遊旅行（8人）/個人（2人）/クラブツーリズム（株）（30人） | | |
| 5/25 | 見学：（株）阪急交通社（21人）/クラブツーリズム（株）（1人） | | |

月/日 事項

- 6/23 見学：個人（2人）
- 6/24 サポートスタッフ研修会⑤（16人）
見学：クラブツーリズム名古屋（14人）/青森県立八戸第二養護学校（36人）/クラブツーリズム（株）（24人）
- 6/25 サポートスタッフ研修会⑥（13人）
見学：個人（3人）/ちぐさワールド福祉合同会社（1人）
- 6/26 見学：弘南バス観光（株）（18人）/弘前大学（14人）/個人（1人）
- 6/28 世界遺産ガイド養成講座（25人）
取材：（株）ムーブ（2人）
- 6/29 第11回八戸市史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会
滑石の勾玉作り・見学：青森県立青森第一養護学校中学部（6人）
見学：個人（5人）
- 6/30 滑石の勾玉作り・見学：田子町立田子小学校（27人）
見学：弘前市立桔梗野小学校（49人）/ビックウィング（4人）
- 7/1 見学・滑石の勾玉作り：八戸市総合教育センター令和4年度初任者研修（39人）
見学：個人（3人）
下見：八戸市立豊崎中学校（2人）
- 7/2 合掌土偶作り教室（22人）
見学：ほっとさろん高屋敷（18人）/弘南バス（株）（10人）/個人（5人）
- 7/3 見学：弘南バス（株）（11人）/（株）また旅くらぶ（16人）/八戸縄文保存協会（1人）
- 7/4 見学：個人（3人）
- 7/5 講話・見学：五戸町立五戸小学校（64人）講師：当館学芸員
見学：（株）ワールド航空サービス（17人）
取材：千葉学園高等学校/（株）東奥日報社（1人）/デーリー東北新聞社（1人）/読売新聞八戸支局（1人）
- 7/6 見学：青森県庁観光企画課（5人）
滑石の勾玉作り・見学：おいらせ町立百石小学校6学年（37人）
見学：クラブツーリズム（株）（13人）
- 7/7 滑石の勾玉作り・見学：妙光園保護者会（12人）
見学：七戸中央公民館寿大学（18人）/青森県立森田養護学校高等部（23人）
- 7/8 見学：（株）アコード（1人）
- 7/9 考古学講座③（39人）
見学：認定こども園轟保育園（28人）/弘南バス（株）（15人）
- 7/10 見学：弘南バス（株）（14人）/J-ART（1人）/創生神楽（24人）
取材：東奥日報社（1人）
- 7/12 見学：むつ市文化財ボランティアの会（6人）
- 7/13 見学：八戸商工会議所（43人）/八戸縄文保存協会（1人）
下見：八戸学院聖アンナ幼稚園（1人）
- 7/14 視察：八戸市市民連携推進課国際交流グループ（7人）/はちとまネットワーク連携事業（6人）
- 7/15 特別展報道機関向け内覧会：デーリー東北新聞社（1人）/東奥日報社（1人）
見学：東京都立大学（8人）/八戸縄文保存協会（1人）/VISITはちのへ（4人）
- 7/16 特別展ギャラリートーク（9人）
見学：（一社）ガールスカウト青森連盟（59人）/弘南バス（株）（9人）
- 7/17 見学：弘南バス（株）（16人）/個人（1人）
- 7/18 見学：弘南バス（株）（7人）/八戸縄文保存協会（1人）/（株）阪急交通社（12人）
- 7/19 特別展ボランティア向け内覧会（11人）
- 7/20 見学：八戸市立中居林小学校6学年（45人）/三八五交通（株）（1人）
取材：青森放送（株）（3人）
- 7/21 見学：海上自衛隊（20人）
- 7/22 見学：海上自衛隊（23人）/八戸縄文保存協会（2人）/八戸学院聖アンナ幼稚園（22人）/クラブツーリズム（株）（17人）/クラブツーリズム（株）（23人）
取材：青森県観光企画課（3人）
- 7/23 見学：弘南バス（株）（2人）/三沢市役所（6人）
- 7/24 見学：弘南バス（株）（5人）/（株）JR東日本びゅうツーリズム&セールス（23人）
- 7/27 滑石の勾玉作り・見学：ろくのへ探検隊（30人）
見学：八戸縄文保存協会（1人）
取材：（有）サウンドクリエイト（3人）
- 7/28 見学：八戸縄文保存協会（1人）/個人（2人）
- 7/29 見学：クラブツーリズム（株）（23人）/ボランティアガイドさぶ（14人）/クラブツーリズム（株）（21人）
取材：curioswitch（1人）/門脇企画制作事務所（4人）
- 7/30 見学：弘南バス（株）（6人）/八戸縄文保存協会（1人）/三上タクシー（1人）
- 7/31 見学：八戸縄文保存協会（1人）/八戸縄文保存協会（2人）
- 8/1 見学：樹の音（13人）
- 8/3 見学：東北医療福祉事業協同組合（5人）/（株）JTB（8人）
取材：EDITORS（3人）
- 8/4 見学：八戸西高校（11人）
- 8/6 特別展考古学講座（25人）
これかわ考古学クラブ②（9人）
見学：安全協会相馬支部（7人）
取材：ATV
- 8/7 「土から土器ができるまで/小さな土製品を作る」刊行記念トークイベント（49人）
取材：東奥日報社
下見：クラブツーリズム（株）（2人）
- 8/11 見学：（株）日本橋トラベラーズクラブ（4人）
- 8/13 特別展ギャラリートーク（4人）
見学：八戸縄文保存協会（5人）
- 8/14 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 8/15 見学：（株）キャリアブリッジス（1人）
- 8/17 見学：光鮎（5人）
取材：読売新聞八戸支局（1人）
- 8/19 見学：八戸縄文保存協会（1人）/コウノトリ（2人）

月 / 日 事項

8/20	是川遺跡クリーンデー (18 人) 特別展ギャラリートーク (4 人) 見学: 八戸縄文保存協会 (1 人) / クラブツーリズム (株) (21 人)	9/9	土製耳飾り作り・見学: 八戸市立是川小学校 1 学年 (25 人) 見学: クラブツーリズム (株) (16 人) / 個人 (2 人) / クラブツーリズム (株) (17 人)
8/21	見学: 関東地区公立中学校修学旅行委員会 (13 人)	9/10	見学: 個人 (2 人) / 八戸工業高等学校 PTA 研修旅行 (17 人) 下見: 八戸市立城北小学校 6 学年 (3 人)
8/23	講話: 八戸市立是川小学校 (12 人) 講師: 当館学芸員 見学: 学校法人神戸女学院 (1 人) / (株) エイチ・アイ・エス植田会 (30 人) / クラブツーリズム (株) (13 人) / クラブツーリズム (株) (11 人)	9/13	滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立城北小学校 6 学年 (78 人) 八戸市立西園小学校 6 学年 (34 人) / 北海学園大学人文学部 (18 人) / クラブツーリズム (株) (22 人)
8/24	見学: 田面木の家 (17 人) / (株) 裾花観光バス (9 人)	9/14	見学: 東北町立東北小学校 6 学年 (64 人) / 十和田観光電鉄 (株) (1 人)
8/25	見学: クラブツーリズム関西 (14 人) / (株) 南海国際旅行 (23 人)	9/15	見学: クラブツーリズム (株) (20 人) / 中里交通 (株) (1 人)
8/26	見学・縄文土偶作り: 八戸市立是川小学校 6 学年 (26 人) 見学: 階上町立石鉢小学校 6 学年 (41 人) / 三陸ジオパーク推進協議会 (30 人) / 住友林業 (株) (9 人) / 八戸学院大学 (19 人)	9/16	滑石の勾玉作り・見学: 階上町立赤保内小学校 6 学年 (36 人)
8/27	特別展ギャラリートーク (11 人) 取材: (有) サウンドクリエイト (11 人)	9/17	シカの角でペンダント作り教室 (6 人) 見学: シュタルナライフアカデミー (12 人)
8/28	見学: 八戸縄文保存協会 (1 人)	9/18	八戸縄文保存協会 (1 人)
8/29	取材: デーリー東北新聞社、東奥日報八戸支社、青森放送 (株) (3 人)	9/22	滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立城下小学校 6 学年 (64 人) / 滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立下長小学校 6 学年 (58 人) 下見: 社会福祉法人道友会 (2 人)
8/30	見学: 個人 (3 人)	9/23	講話: つがる市世界遺産登録記念フォーラム (100 人) 講師: 当館学芸員 (於: つがる市生涯学習交流センター)
8/31	縄文土器作り: 八戸市立是川小学校 4 学年 (20 人) 見学: 筑波大学大学院 (15 人) 視察: 八戸市副市長 (2 人)	9/24	見学: 八戸縄文保存協会 (1 人) / 青森県教職員組合 (11 人)
9/1	縄文土器作り: 八戸市立是川小学校 5 学年 (30 人) 見学: はっち (2 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)	9/25	見学: 県文化財保護協会 (37 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人) 取材: 東奥日報社 (1 人) / デーリー東北新聞社 (1 人)
9/2	縄文土偶作り・見学: 八戸市立明治中学校 1 学年 (28 人) 見学: クラブツーリズム (株) (20 人) / クラブツーリズム (株) (20 人)	9/27	見学: 青森県立八戸第一養護学校高等部 1 学年 (9 人) / 八戸縄文保存協会 (2 人) / クラブツーリズム (株) (14 人) / (株) 西遊旅行 (7 人)
9/3	縄文の布を編む講座 (6 人) 特別展ギャラリートーク (11 人) 見学: 個人 (6 人)	9/28	見学: 函南保育園 (37 人) / 社会福祉法人道友会 (66 人)
9/4	クラブツーリズム (株) (9 人)	9/29	見学: クラブツーリズム (株) (24 人)
9/5	縄文土偶作り: 八戸市立是川小学校 2 学年 (25 人) 見学: 青森県観光企画課 (4 人) 取材: (有) サウンドクリエイト (2 人)	9/30	講話・見学: 八戸市鷗盟大学 (21 人) 講師: 当館館長 滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立根岸小学校 5 学年 (69 人) 見学: 日本橋トラベラーズクラブ (7 人) / 染屋いきいきサロン (13 人) / クラブツーリズム (株) (24 人)
9/6	滑石の勾玉作り・見学: 八戸市立根城小学校 6 学年 (94 人)	10/1	下見: RAB 企画 (1 人)
9/7	縄文土器作り: 八戸市立是川小学校 3 学年 (40 人) 見学: 個人 (2 人)	10/2	取材: アール・エー・ビー開発 (株) (7 人)
9/8	見学: 八戸市立鯨中学校 1 学年 (22 人) / 八戸市立豊崎中学校 1 学年 (5 人) / 個人 (8 人) 取材: 個人 (1 人) 視察: 山ノ内教育委員会 (2 人)	10/3	見学: 横浜美術館 (2 人)
		10/4	縄文土偶作り: 鷗盟大学 2 学年 (22 人)
		10/5	職場体験: 八戸市立三条中学校 2 学年 (3 人) 見学: おいらせ町木内々小学校 6 学年 (49 人) / 個人 (6 人) 視察: 松島町議会教育民生常任委員会 (9 人) / 文化創造推進課 (5 人)

月/日 事項

- 10/6 職場体験：八戸市立三条中学校2学年(3人)
見学：吾郷熟年クラブ(3人)/クラブツーリズム(株)(24人)
視察：北東北三県福岡合同事務所(9人)
- 10/7 企画展報道機関向け内覧会：東奥日報社(1人)
見学：(株)みちのりトラベル東北(1人)/クラブツーリズム(株)(23人)
- 10/8 企画展ギャラリートーク(2人)
見学：(株)みちのりトラベル東北(1人)/弘南バス(株)(20人)/弘前観光ボランティアガイドの会(24人)/県観光国際戦略局誘客交流課(2人)/個人(2人)
取材：(株)アマゾンラテルナ(1人)/デーリー東北新聞社(1人)
- 10/9 見学：(株)ユーラシア旅行社(10人)/日星(株)(2人)/会津ユネスコ協会(8人)/弘南バス(株)(20人)
- 10/10 企画展小中学生向けギャラリートーク(12人)
見学：個人(6人)/弘南バス(株)(20人)
取材：東奥日報社(1人)
- 10/12 見学：八戸市立第三中学校1学年(17人)/青森県立八戸東高等学校2学年(6人)/弘南バス(株)(20人)/個人(2人)/(株)みちのりトラベル東北(1人)
- 10/13 見学：(株)道新サービスセンター(18人)
取材：読売新聞八戸支局(1人)
- 10/14 講話・見学：八戸市鷗盟大学(24人)講師：当館館長
見学：個人(2人)/クラブツーリズム(株)(21人)
視察：富士見町議会(6人)
- 10/15 縄文土器作り講座①(3人)
企画展ギャラリートーク(5人)
滑石の勾玉作り・見学：成美会八戸支部(11人)
見学：個人(2人)
- 10/16 見学：(株)軽米町産業開発(8人)/八戸縄文保存協会(1人)/阪根大学卒業式(69人)
縄文土器作り：鷗盟大学(17人)
- 10/18 見学：八戸縄文保存協会(2人)
- 10/19 見学：個人(3人)
取材：(株)アイデア・インスティテュート(2人)
- 10/20 見学：クラブツーリズム(株)(7人)/(株)みちのりトラベル東北(2人)
- 10/21 土製耳飾り作り・見学：三戸町立斗川小学校6学年(9人)/五戸町立切谷内小学校5・6学年(16人)
見学：三沢市立三沢小学校5学年(56人)/(株)三越伊勢丹ニッコウトラベル(8人)/クラブツーリズム(株)(23人)/(株)みちのりトラベル東北(2人)
視察：青森県議会(12人)
- 10/22 企画展ギャラリートーク(5人)
縄文土器作り講座②(3人)
見学：クラブツーリズム関西(13人)/カタカムナ松下村塾(25人)/市川民児協(16人)
- 10/25 見学：ヴァンラーレ八戸(4人)
- 10/26 見学：八戸縄文保存協会(2人)/(株)みちのりトラベル東北(10人)/稗貫・和賀の百姓一揆を語る会(14人)
- 10/27 見学：休暇村大阪センター(17人)/(株)丹青社(1人)/(株)みちのりトラベル東北(4人)
- 10/28 八戸市立是川中学校野焼き(於：是川中学校)
滑石の勾玉作り・見学：八戸市立吹上小学校6学年(76人)
見学：奥州地区保護司会(22人)/(株)みちのりトラベル東北(9人)/クラブツーリズム(株)(23人)
取材：青森テレビ(1人)/東奥日報社(1人)
- 10/29 企画展ギャラリートーク(3人)
是川遺跡クリーンデー(12人)
- 10/30 見学：金木商工会(13人)/個人(1人)/八戸縄文保存協会(1人)
- 11/2 見学：みちのりトラベル東北(13人)
取材：(株)JALブランドコミュニケーション(2人)
- 11/3 是川縄文館の日(739人)
学芸員と遺跡ツアー(18人)
- 11/5 企画展ギャラリートーク(3人)
企画展考古学講座(58人)
見学：八戸縄文保存協会(1人)/JTC(1人)
取材：東奥日報社(2人)
- 11/6 第7回是川縄文の里俳句大会表彰式(24人)
見学：グローバルエースビューロー(1人)
- 11/7 見学：個人(4人)
- 11/8 滑石の勾玉作り・見学：新郷村立新郷小学校6学年(14人)
見学：立正佼成会弘前協会(8人)/クラブツーリズム(株)(25人)/弘南バス(株)(20人)
下見：八戸さんぽマイスター(1人)
- 11/9 見学：(株)みちのりトラベル東北(9人)
- 11/10 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立三条小学校6学年(51人)
見学：クラブツーリズム(株)(10人)/個人(2人)/(株)みちのりトラベル東北(7人)
- 11/11 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立柏崎小学校6学年(90人)
ボランティア向け遺跡調査報告会(16人)
- 11/12 企画展ギャラリートーク(3人)
遺跡調査報告会(51人)
見学：八戸縄文保存協会(4人)/弘南バス(株)(20人)/ビーエス観光(10人)/個人(5人)
取材：デーリー東北新聞社(1人)/東奥日報社(1人)/読売新聞(1人)/週刊八戸(1人)
- 11/13 見学：Y.Yフレンドリーツアー/弘南バス(株)(20人)/八戸さんぽマイスター(3人)
視察：外ヶ浜町教育委員会社会教育課(11人)
取材：(株)電通東日本(5人)
- 11/15 見学：青森県立八戸第一養護学校中学部1・3年(5人)
視察：三内丸山遺跡センター(23人)
- 11/16 視察：三八地域県民局(15人)

月/日 事項

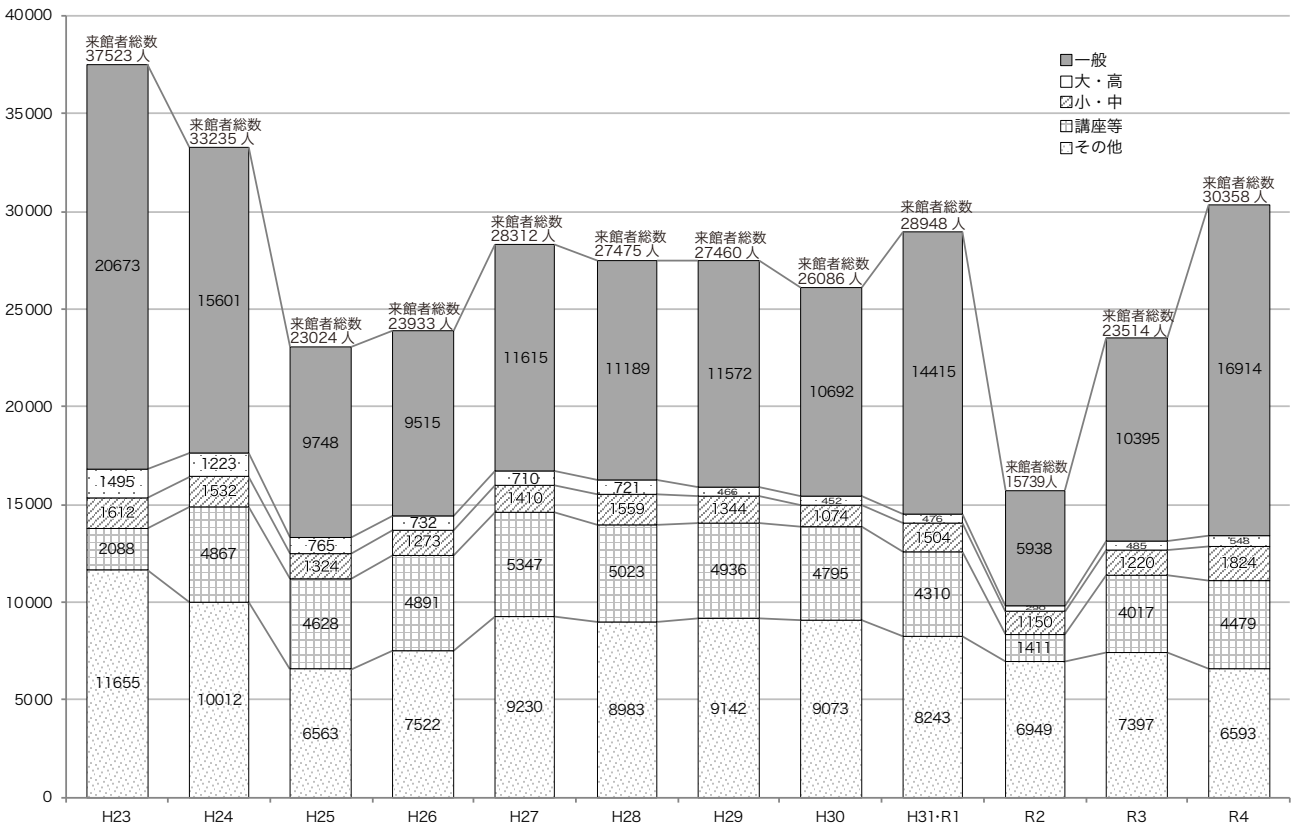
- 11/17 講話：根岸公民館講座（9人）講師：当館学芸員（於根岸公民館）
滑石の勾玉作り・見学：南部町立福地小学校6学年（12人）
見学：（一社）日本補償コンサルタント協会東北地区連絡協議会（14人）/個人（2人）/（株）みちのりトラベル東北（2人）
視察：八戸市（21人）
- 11/18 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立大久喜小学校5学年（2人）
見学：八戸縄文保存協会（1人）/（株）みちのりトラベル東北（2人）
- 11/19 企画展ギャラリートーク（4人）
ドングリで縄文クッキング（7人）（於：縄文学習館）
体験：つぐみの丘（10人）
- 11/20 見学：TST アメリカ（8人）
見学・懇談会：アプタフレナイの会（7人）
- 11/23 見学：個人（2人）/八戸縄文保存協会（2人）
- 11/25 滑石の勾玉作り・見学：階上町立道仏小学校6学年（20人）
見学：八戸国際交流協会（10人）/個人（4人）/弘前市立博物館後援会（18人）/（株）みちのりトラベル東北（7人）
- 11/26 見学：（株）第一広告社（5人）
- 11/30 見学：（株）みちのりトラベル東北（8人）
- 12/1 見学：吾郷熟年クラブ（20人）/八戸市立桔梗野小学校5学年（12人）/（株）フォトクラシック（4人）/東京鉄鋼（株）（8人）/大館市立花岡公民館（28人）
視察：八戸市港湾河川課（10人）
- 12/2 見学：個人（4人）
- 12/3 これかわ考古学クラブ③（8人）
- 12/6 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立金浜小学校（19人）
- 12/9 冬季企画展内覧会（ボランティア向け）（16人）
見学：（株）八洲建築設計事務所（2人）/グリーン交通（5人）/八戸縄文保存協会（1人）
- 12/10 滑石の勾玉作り・見学：八戸工業高等専門学校（41人）/八戸市総合教育センター（8人）
見学：跡見学園女子大学（1人）/縄文是川ボランティア（1人）/クラブツーリズム（株）（22人）
取材：デーリー東北新聞社（1人）/青森放送（2人）
- 12/11 見学：東奥日報旅行センター（20人）/フラワー観光（株）（13人）/のしろ健文学教室（28人）
- 12/13 見学：八戸縄文保存協会（1人）/個人（1人）
- 12/14 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立江陽小学校6学年（44人）
取材：東奥日報社八戸支社（1人）
- 12/15 視察：三沢市政策調整課（5人）
- 12/16 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立多賀台小学校6学年（26人）
- 12/17 考古学講座④（36人）
- 12/20 取材：（株）ピーエフエム（1人）
- 12/21 見学：個人（1人）/奈良文化財研究所（1人）
- 12/22 見学：コウノトリ（2人）
- 12/23 視察：三戸町教育委員会史跡対策室（2人）
- 1/6 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 1/7 縄文土器の拓本作り教室（7人）
視察：八戸市まちづくり文化スポーツ部（7人）
- 1/8 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 1/9 見学：八戸縄文保存協会（1人）/縄文是川ボランティア（1人）
- 1/11 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 1/12 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 1/13 見学：凸版印刷（株）（1人）
- 1/14 考古学講座⑤（41人）
見学：凸版印刷（株）（1人）
- 1/15 見学：クラブツーリズム（株）（8人）
- 1/17 見学：三八五流通（株）（7人）
- 1/19 見学：八戸縄文保存協会（2人）
- 1/20 取材：パシフィックコンサルタンツ（株）（4人）
- 1/21 これかわ考古学クラブ④（7人）
サポートスタッフ研修会①（4人）
滑石の勾玉作り・見学：きくよし学童スクール（14人）
- 1/22 見学：アサヒトラベルサービス（14人）
- 1/25 取材：NHK八戸（3人）
- 1/27 見学：（株）阪急交通社（16人）
- 1/28 サポートスタッフ研修会②（4人）
見学：ちぐさワールド福祉合同会社（1人）/個人（5人）
- 1/29 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 1/31 見学：（株）阪急交通社（18人）
- 2/3 取材：読売新聞八戸支局（1人）
- 2/4 これかわ考古学クラブ修了式（7人）
サポートスタッフ研修会③（4人）
- 2/7 見学：（株）ワールド航空サービス（12人）
視察：青森県市議会議長会（19人）
下見：大館市十二所公民館（1人）
- 2/8 令和4年度第2回は川縄文館運営協議会
- 2/9 見学：（株）ACプロモート（3人）
- 2/10 令和4年度史跡是川石器時代遺跡内容確認調査に係る調査指導
第12回史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会
- 2/11 考古学講座⑥（31人）
- 2/14 見学：青森中央学院大学（3人）/ENECSホールディングス（株）（5人）
取材：（株）八戸テレビ放送（2人）
- 2/15 見学：（株）ユーラシア旅行社（12人）/KN-ALS-0212TOH（33人）
- 2/16 見学：個人（1人）
- 2/17 かがり火えんぶり点火式（於市庁前広場）
見学：寿光会（16人）/（株）阪急交通社（27人）/（株）イメルション・ジャポン（7人）
- 2/18 サポートスタッフ研修会④（5人）
- 2/19 見学：三八五観光（12人）/三八五バス（株）（9人）/個人（5人）
- 2/22 見学：八戸縄文保存協会（1人）
- 2/23 サポートスタッフ研修会⑤（19人）
見学：三八五バス（9人）
- 2/25 サポートスタッフ研修会⑥（26人）

月 / 日 事項

- 2/26 えんぶり鑑賞会 (162 人)
取材：デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報社 (1 人)
見学：八戸縄文保存協会 (4 人) / (株) 阪急交通社 (26 人)
- 3/2 見学：イングリッシュヘリテージ (4 人)
- 3/3 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
- 3/4 縄文土器作り教室 (6 人)
体験：きくよし児童スクール (18 人)
- 3/5 見学：(株) JR 東日本びゅうツーリズム&セールス (15 人)
- 3/9 見学：北日本ツーリスト (14 人)
- 3/10 見学：(株) 阪急交通社 (27 人)
- 3/11 視察：奥松島縄文村歴史資料館 (2 人)
- 3/15 見学：かなえるデイサービスまる (25 人)
- 3/16 縄文館懇談会 (4 人)
見学：十和田地区女性部協議会 (14 人) / 個人 (1 人) / (株) 池田介護研究所 (26 人)
- 3/17 見学：十二所公民館 (25 人)
- 3/18 見学：荻野化成 (株) (22 人)
- 3/19 見学：阪急交通社 (27 人)
- 3/21 見学：CRT (14 人)
- 3/24 見学：(株) みちのりトラベル東北 (10 人)
視察：明治大学文学研究科 (5 人)
- 3/25 縄文土器作り講座③ (3 人)
見学：個人 (2 人)
視察：東北芸術工科大学保存修復研究センター (1 人)
- 3/26 見学：個人 (1 人)
- 3/28 ボランティア懇談会
滑石の勾玉作り・見学：六戸町生活研究連合会 (10 人)
見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
- 3/29 見学：個人 (1 人)
- 3/30 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)

4. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有 料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館総 入館者	開館 日数	平 均 入館者
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計						
4 月	825	30	46	901	0	0	144	144	11	6	48	6	71	1,116	104	0	1,390	26	53
5 月	1,871	39	136	2,046	72	0	81	153	34	25	77	21	157	2,356	230	215	3,044	27	113
6 月	1,508	19	60	1,587	23	24	66	113	39	24	43	44	150	1,850	379	192	2,660	27	99
7 月	1,611	37	97	1,745	228	0	146	374	37	21	64	52	174	2,293	407	116	3,056	30	102
8 月	2,436	140	376	2,952	101	0	36	137	54	42	123	28	247	3,336	714	97	4,352	30	145
9 月	1,759	76	85	1,920	230	0	89	319	26	17	63	59	165	2,404	724	112	3,517	27	0
10 月	1,966	28	78	2,072	327	0	99	433	47	37	96	36	216	2,714	390	146	3,512	27	130
11 月	1,120	20	77	1,217	148	0	0	166	31	20	44	33	128	1,493	1,365	224	3,354	25	134
12 月	475	10	24	509	90	33	24	147	6	3	25	31	65	721	202	91	1,193	22	54
1 月	470	17	33	520	0	0	0	0	12	8	17	13	50	570	134	129	1,018	23	44
2 月	625	20	26	671	84	0	0	84	7	7	31	13	58	813	145	360	1,521	23	66
3 月	846	55	99	1,000	99	0	2	101	13	6	88	59	166	1,267	152	86	1,741	26	67
計	15,512	491	1,137	17,140	1,402	57	687	2,146	317	216	719	395	1,647	20,933	4,946	1,768	30,358	313	97



本館における過去 12 年間の来館者数の推移
※ H24 から講座等入館者にボランティアを含む。

5. 小中学校利用状況

学校利用 1,774 人 市内 1,075 人 (小学校 17 校 881 人 中学校 7 校 194 人) ※詳細は下表
市外 699 人
個人利用 1,762 人 市内 625 人 (小学校 528 人 中学校 97 人)
市外 1,137 人
総計 3,536 人

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
6/2	湊中学校 2 学年	見学	30	9/13	城北小学校 6 学年	見学・体験	72
6/6	南郷小学校 3・4 学年	見学	35	9/22	城下小学校 6 学年	見学・体験	62
6/24	八戸第二養護学校中学部 3 学年	見学	25	9/22	下長小学校 6 学年	見学・体験	53
7/20	中居林小学校 6 学年	見学	42	9/30	根岸小学校 5 学年	見学・体験	65
8/26	是川小学校 6 学年	見学・体験	24	10/12	第三中学校 1 学年	見学	16
8/31	是川小学校 4 学年	体験	18	10/28	吹上小学校 6 学年	見学・体験	70
9/1	是川小学校 5 学年	体験	28	10/28	是川中学校 1～3 学年	出前体験	71
9/2	明治中学校 1 学年	見学・体験	25	11/10	三条小学校 6 学年	見学・体験	47
9/5	是川小学校 2 学年	体験	21	11/11	柏崎小学校 6 学年	見学・体験	83
9/6	根城小学校 6 学年	見学・体験	89	11/15	八戸第一養護学校中等部 1・3 学年	見学	3
9/7	是川小学校 3 学年	体験	34	11/18	大久喜小学校 5 学年	見学・体験	1
9/8	鮫中学校 1 学年	見学	20	12/1	桔梗野小学校 5 学年	見学	10
9/8	豊崎中学校 1 学年	見学	4	12/6	金浜小学校 3～6 学年	見学・体験	14
9/9	是川小学校 1 学年	見学・体験	18	12/14	江陽小学校 6 学年	見学・体験	40
9/13	西園小学校 6 学年	見学	31	12/16	多賀台小学校 6 学年	見学・体験	24

○修学旅行利用状況

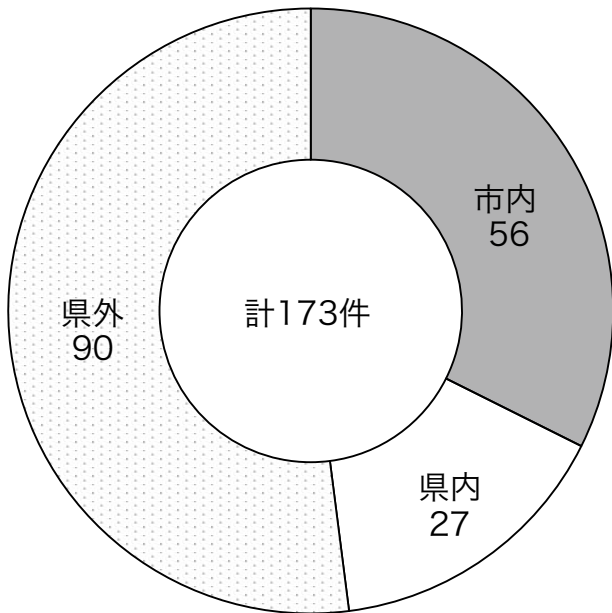
令和 4 年度は、以下の表のとおり修学旅行先として 4 校 203 人の利用があった。

入館日	学校名	内容	人数
4/20	弘前大学教育学部附属中学校	見学	94
5/26	中泊町立中里中学校	見学	53
6/30	弘前市立桔梗野小学校	見学	42
7/7	青森県立森田養護学校高等部	見学	14

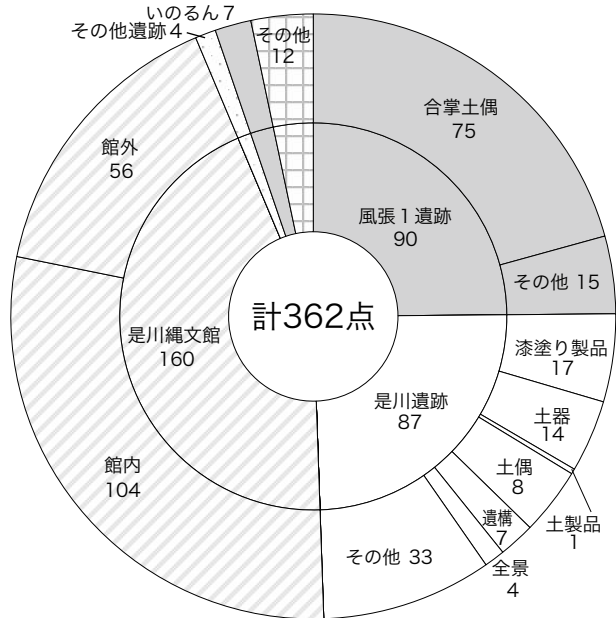
6. 資料利用状況

(1) 画像資料

令和 4 年度は、申請数 173 件、合計 362 点の利用申請があった。前年と比べ件数、点数ともに減少した。今年度の申請者も昨年度に引き続き県外が最多となった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用や個人の SNS への掲載等がある。また、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」HP 内、縄文アーカイブからの画像利用は 28 件あった。



映像資料利用依頼先内訳



資料利用種別内訳

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
1	(株) はる制作室	是川石器時代遺跡ほか	4	写真貸与	4/5	宝島社刊 T J MOOK『新発見でここまでわかった日本の古代史』
2	(株) マイクロマガジン社	一王寺遺跡 石鏃ほか	4	写真貸与	4/12	書籍、電子書籍「守ろう！みんなの東北 4 巻」
3	(株) JR 東日本企画盛岡支店	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	4/12	青森県観光ガイドブック「あおり紀行 2022 夏秋版」縄文をめぐる旅
4	(株) 都市出版	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	4/12	月刊「東京人」2018 年 8 月号（電子版）
5	(株) Z 会	是川中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	写真貸与	4/12	通信教育教材 中学受験コース 5 年社会 6 月
6	(有) 三猿舎	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶 出土状況	1	写真貸与	4/13	『日本の歴史別巻 史跡・出来事事典』
7	(一社) 共同通信社	常設展及び展示品	1	写真撮影	4/13	取材
8	(株) 日経映像	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	4/18	「新美の巨人たち」番組撮影
9	(株) 日経映像	常設展及び展示品ほか	3	写真撮影	4/19	「新美の巨人たち」番組撮影
10	弘前大学教育学部附属中学校	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	4/20	卒業アルバム用
11	(株) JR 東日本企画盛岡支店	いのるん	1	写真貸与	4/21	青森県観光ガイドブック「あおり紀行 2022 夏秋版」縄文をめぐる旅
12	(株) 雄山閣	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	4/21	『縄文時代の環境への適応と資源利用』表紙および栗島義明氏論考
13	(株) えんれいしゃ	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	4/21	雑誌「北海道生活」取材・撮影
14	八戸市立是川小学校	いのるん	1	写真貸与	4/22	是川小学校運動会ポロシャツ
15	八戸市立是川小学校	とっちーほか	2	写真貸与	4/22	是川小学校運動会ポロシャツ
16	(株) JR 東日本企画秋田支店	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	4/30	北東北重版パンフレットラック
17	(株) クラブツーリズム カルチャー旅行センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	4/30	旅行パンフレット「ひと味違う旅」掲載、朝日新聞朝刊の旅行商品記事
18	(株) アフロ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	4/30	中学生を対象とした社会科用学習教材表紙
19	(株) 東日本旅客鉄道 盛岡支社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/3	ビューカードにおけるタイアップ企画紹介ページ

令和 4 年度資料利用依頼一覧 (1)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
20	東北町教育委員会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/9	世界文化遺産登録推進室 世界文化遺産登録専門監 岡田康博氏講演映像資料
21	山形県立博物館	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	5/10	企画展「女神たちの饗宴ー『縄文の女神』国宝指定 10 周年ー」写真パネル、チラシ、無料頒布リーフレット
22	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/11	五戸町郷土館展示会
23	(株) シグレゴコチ	是川中居遺跡 土偶	1	写真貸与	5/11	学研の歴史 学習まんが『DVD 付き NEW 日本の歴史シリーズ』『人物学習事典』『文化遺産学習事典』付録映像
24	(株) 日本政策投資銀行	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/12	取引先会講演資料
25	星野リゾート「みちくさガイド」	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	5/12	星野リゾート WEB サイト「みちくさガイド」
26	(有) サウンドクリエイト	常設展ほか	2	映像撮影	5/13	取材
27	岩手県県北広域振興局経営企画部 二戸地域振興センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/14	北東北三県大型観光キャンペーンガイドブック（発行：いわて観光キャンペーン推進協議会）
28	(株) マガジンハウス	是川中居遺跡 壺形土器	1	写真貸与	5/17	縄文アート記事
29	(株) 舟形町振興公社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/18	国宝土偶「縄文の女神」出土 30 周年記念グッズ作成
30	(株) クラブツーリズム 関西テーマ旅行センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/19	朝日新聞夕刊 ツアー募集広告
31	編集プロダクション MOVE	合掌土偶スノードームほか	2	写真使用	5/21	令和 4 年 7 月発行予定「るるぶ縄文」
32	(株) 調度	是川縄文館外観	1	写真貸与	5/21	『美しすぎるミュージアムグッズ』
33	(株) かみゆ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/24	JTB の MOOK『るるぶ縄文（仮）』
34	MBS 企画	是川縄文館外観	1	写真貸与	5/25	BS フジ「日本遺産物語」
35	(株) ジャパンジャーナル	是川中居遺跡 藍胎漆器ほか	3	写真貸与	5/31	政府広報室発行海外向け広報媒体「Highliting Japan」2022 年 5 月号『漆の魅力』
36	千葉学園高等学校	是川中居遺跡 鉢形土器ほか	5	写真貸与	6/1	「縄文の文様のヘアゴムとブローチ」販売用パッケージ
37	個人	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	6/1	「つなぐ旅」デジタルパンフレット
38	スタジオやまみち	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	6/2	卒業アルバム用
39	朝日新聞青森総局	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	6/4	朝日新聞青森版等
40	(株) つがるねっと 就労継続支援 B 型バナナの樹	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6/7	津軽塗り箸置き作成、販売
41	(株) カビケーラ	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	6/7	ナビタイムトラベル (WEB サイト) 記事制作
42	ババママふぁいと協会	是川縄文館外観	1	映像撮影	6/14	向陵高等学校案内ビデオ制作
43	(株) MBS 企画	常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	6/14	「日本遺産物語」撮影
44	(株) MBS 企画	常設展示室及び展示品	1	映像撮影	6/17	「日本遺産物語」撮影
45	(株) テレビマンユニオン	是川中居遺跡 遮光器土偶	1	映像貸与	6/18	「天才てれびくん ,hello」で使用するため
46	(一財) 休暇村協会大阪センター	常設展示室ほか	4	写真貸与	6/21	ツアーパンフレット・ツアー HP
47	びけプロダクション	常設展示室及び展示品ほか	7	写真貸与	6/28	映画「掘る女」パンフレットに使用
48	弘前市立桔梗野小学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	6/30	修学旅行アルバム掲載
49	(株) 東日本高速道路 東北支社	是川縄文館外観ほか	3	写真貸与	7/5	雑誌「rakra」第 113 号
50	五戸小学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	7/5	学年便り
51	(株) 東奥日報社	これカフェ	1	写真撮影	7/5	日刊紙「東奥日報」
52	(株) 読売新聞八戸支社	これカフェ	1	写真撮影	7/5	日刊紙「読売新聞」
53	デーリー東北新聞社	これカフェ	1	写真撮影	7/5	デーリー東北
54	個人	常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	7/9	個人ブログ
55	(株) 東奥日報社	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	7/10	連載企画「JOMON の森」
56	(株) 産業経済新聞社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7/14	サンケイスポーツ東京本社発行「大人くらぶ」
57	三内丸山遺跡センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	7/15	ポスター及び web 広告用バナーのデザイン制作
58	(株) 東奥日報社	是川中居遺跡 箆形木製品	1	写真貸与	7/15	連載企画「JOMON の森」

令和 4 年度資料利用依頼一覧 (2)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
59	(株) 東奥日報社	パブリックビューイング	1	写真貸与	7/19	東奥日報紙面
60	(株) 青森放送	常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	7/20	「RAB ニュースリーダー」
61	(株) ムーブ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	7/22	バス車内誌「みちのり」2022 年秋号
62	青森県交通政策課	常設展示室ほか	2	写真貸与	7/22	道内向けフリーペーパー「JP01」に掲載
63	(株) アマゾンラテルナ	漆塗り樹皮製容器 復元品	1	写真貸与	7/22	NHK「武田真治の縄文アドベンチャー」
64	青森県観光企画課	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/22	ブログ、YouTube チャンネル
65	八戸学院聖アンナ幼稚園	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	7/22	卒園アルバム用
66	(有) サウンドクリエイト	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	7/27	ATV「いいふる」
67	(株) 小学館	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7/28	『小学館版学習まんが日本の歴史』(紙書籍版・デジタル書籍版)
68	門脇企画制作事務所	是川縄文館外観ほか	3	写真撮影	7/29	日本航空 (JAL) 媒体「On Trip JAL」取材
69	curioswitch	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	7/29	青森県 PR 動画
70	(株) ネクスス	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8/3	テレビ東京「開運! なんでも鑑定団」
71	(株) EDITORS	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8/3	「八戸本」
72	(有) サウンドクリエイト	これかわ考古学クラブ	1	映像撮影	8/6	ATV「いいふる」
73	八戸市国体室	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8/7	国体 SNS 用
74	(株) 読売新聞八戸支局	特別展	1	写真撮影	8/17	記事 (青森県版)
75	八戸北ロータリークラブ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8/18	八戸北ロータリークラブ パナーのデザインに使用
76	函館市縄文文化交流センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8/18	令和 4 年度企画展「カックウ」と「まっくう」解説パネル
77	(公財) 通信文化協会東北地方本部	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8/24	通信文化 (10 月号)「わが街 わが故郷」
78	三陸ジオパーク推進協議会	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8/26	三陸ジオパークセミナー エクスセッションツアー記録
79	カメラのコーエン	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	8/26	アルバム撮影用
80	個人	是川中居遺跡 出土ヤス柄および復元品	1	写真使用	8/26	季刊考古学 161 号掲載論文
81	(有) サウンドクリエイト	常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	8/27	ATV 番組
82	(株) 桜映画社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	映像使用	8/31	NHK「美の壺～縄文の美 (仮題)～」
83	(株) ジャパンプリント	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	9/5	季刊誌「季刊栄養教諭 69 号」
84	(株) ネクスス	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9/5	BS-TBS「にっぽん! 歴史鑑定」
85	(有) サウンドクリエイト	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	9/5	ATV「いいふる」
86	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/6	根城小学校卒業アルバム
87	個人	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/8	web サイト「びゅうたび」記事制作
88	(有) カメラの和弘	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/8	鯨中学校写真撮影
89	八戸市立鯨中学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	9/8	総合的な学習 校内 CM 作り
90	縄文是川ボランティア	是川中居遺跡出土 遮光器土偶	1	写真貸与	9/10	作品展ビラに掲載するため
91	(有) サウンドクリエイト	是川遺跡鳥瞰写真ほか	23	写真貸与	9/10	ATV「いいふる」
92	八戸市博物館	是川中居遺跡ほか	2	写真貸与	9/16	令和 4 年度秋季特別展
93	カメラのコーエン	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	9/13	アルバム撮影用
94	スタジオ・セントラル	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/14	卒業アルバム使用
95	福島市長	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	9/15	オンライン解説及び広報チラシ
96	福島市長	いのるん	1	写真貸与	9/15	オンライン解説及び広報チラシ
97	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	9/22	城下小学校卒業アルバム
98	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/22	下長小学校卒業アルバム
99	八戸郵便局	いのるん	1	写真貸与	9/27	「ご当地キャラに応援の年賀状を書こう!」パンフレット

令和 4 年度資料利用依頼一覧 (3)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
100	デーリー東北新聞社	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	9/25	デーリー東北
101	(株) 東奥日報社八戸支社	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	9/25	東奥日報社
102	社会教育課長	是川遺跡出土品(泉山)	1	写真貸与	9/29	HP「八戸ゆかりの先人たち」に掲載するため
103	(株) アール・エー・ビー開発	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	10/2	観光課「観光 PR 動画」
104	八戸市立三条中学校	是川縄文館外観	1	写真撮影	10/5	職場体験学習
105	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真撮影	10/5	WEB メディア「SUUMO ジャーナル」
106	(株) 平凡社	是川中居遺跡 土偶ほか	6	写真使用	10/5	『土偶美術館』
107	(有) 大悠社	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	10/5	『PIKARI 2 月号』
108	ビデオアートボックス	八戸市立三条中学校 2 年生職場体験	1	映像撮影	10/6	学校行事の記録
109	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	写真撮影	10/8	秋季企画展取材
110	個人	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	10/8	インスタグラム PR
111	(株) 読売新聞八戸支局	企画展示室及び展示品	1	写真撮影	10/13	紙面掲載
112	東京青森県人会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10/13	会報「東京と青森」12 月号表紙
113	(株) イデア・インスティテュート	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	10/19	Amazing AOMORI 多言語サイト
114	三沢市立三沢小学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	10/21	学級だより掲載
115	(株) 共同テレビジョン	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	映像使用	10/19	NHK「チコちゃんに叱られる」
116	福島市	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	10/25	市主催土偶フォーラムに使用するスライド・動画
117	福島市	風張 1 遺跡 土偶	1	写真貸与	10/25	市主催土偶フォーラムに使用するスライド・動画
118	青森テレビ	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	10/28	報道取材
119	(株) 東奥日報社	常設展示室及び展示室	1	写真撮影	10/28	連載「JOMON の森」取材
120	(有) スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	10/28	卒業アルバム
121	(株) JAL ブランドコミュニケーション	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	11/2	JAL グループ機内誌 SKYWARD 2023 年 1 月号
122	(株) 東奥日報社	体験交流室ほか	2	写真撮影	11/5	取材
123	(株) 第一広告社	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	11/6	東北の人と文化を基盤としたローカルツーリズム推進事業の告知
124	(株) グランフォート	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	11/10	卒業アルバム掲載
125	イワダデフォトスタジオ	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	11/11	柏崎小学校撮影
126	カメラのコーエン	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	11/11	卒業記念 DVD 撮影
127	(株) 電通東日本	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	11/13	ブログ及び YouTube
128	(株) EDITORS	合掌土偶 出土状況ほか	3	写真貸与	11/15	雑誌「八戸本」
129	デーリー東北新聞社	体験交流室	2	写真撮影	11/26	令和 5 年 1 月 31 日発行情報誌「シュシュ」
130	北の縄文道民会議	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/6	小冊子〈北海道発〉縄文初心者むけやさしい縄文読本「縄本 JOBON(ジョーボン)」
131	(株) 東奥日報社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/6	令和 5 年 1 月 1 日付け東奥日報紙面
132	(株) 東奥日報社	いのるん	1	写真貸与	12/6	令和 5 年 1 月 1 日付け東奥日報紙面
133	デーリー東北新聞社	企画展示室	1	写真撮影	12/10	冬季企画展取材
134	(一社) 人文知応援フォーラム	是川縄文館外観	1	写真貸与	12/14	第 0 回人文知夏期学校に係る記録集
135	(有) 八戸カメラ	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	12/14	卒業アルバム
136	(株) 東奥日報社	企画展示室及び展示品	1	写真撮影	12/14	日刊紙「東奥日報」
137	(一社) 八戸建設業協会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	12/20	年賀状
138	(株) 柏書房	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	9	写真貸与	12/20	『土偶大事典』

令和 4 年度資料利用依頼一覧 (4)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
139	(株) ビーエフエム	企画展示室及び展示品	1	写真撮影	12/20	ラジオ・八戸経済新聞
140	非営利特定法人ジョーモネスクジャパン	縄文時代晩期の中居遺跡ほか	2	写真貸与	12/27	NPO 法人ジョーモネスクジャパン会報 17 号掲載
141	個人	ケヤキの樹皮ををぎ取っている作業中の写真	1	写真貸与	12/27	著書『民俗考古学とは何か』（仮名）の挿図写真として活用
142	(株) サイバー・ネット・コミュニケーションズ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/7	『社会科 中学生の歴史』
143	(株) アール・エー・ビー企画	是川中居遺跡出土 篋形木製品	1	写真貸与	1/11	TV 番組 初耳@ AOMORI
144	(株) ムーブ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	1/11	『るるぶ特別版』
145	(株) 小学館	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/11	ドラえもん探究ワールド「縄文も古墳も びっくり先史時代」
146	(株) ライフプランニング	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/17	『るるぶドライブ東北ベストコース 24』
147	パシフィックコンサルタンツ	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・映像撮影	1/20	国土交通省標識案内ビデオ作製
148	(株) クラブツーリズム	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/24	媒体・ホームページ
149	長野県山ノ内町教育委員会	是川中居遺跡出土 皿形土器	1	写真貸与	1/24	「志賀高原ロマン美術館 2022 年冬季企画展」で展示パネルに使用するため
150	(株) 長野朝日放送	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/25	特別番組「国宝さん 其の三」
151	NHK 八戸支局	企画展示室ほか	2	映像撮影	1/25	企画展取材のため
152	個人	是川中居遺跡出土 篋形木製品	1	写真貸与	1/26	SNS で使用するため。
153	NHK 青森放送局	冬季企画展ポスターほか	3	写真貸与	1/26	あつぷるワイド内で放送
154	千葉学園高等学校	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	1/28	「八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金」活用事業 プレゼンテーション
155	千葉学園高等学校	いのるん	1	写真貸与	1/28	「八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金」活用事業 プレゼンテーション
156	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	1/31	「八戸市内の土木事業とインフラの基礎知識」に掲載するため
157	(株) Crayfish	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/31	ミツカン水の文化センター機関誌『水の文化』
158	(株) 読売新聞社八戸支局	企画展示室	1	映像撮影	2/3	冬季企画展取材のため
159	(株) クラブツーリズム株式会社開西テーマ旅行センター	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2/3	ツアー募集媒体への掲載（パンフレット・ホームページ・新聞）
160	(株) 北海道中央バス シービーツアーズカンパニー	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	2/3	ツアー募集媒体への掲載（パンフレット・ホームページ・新聞）
161	(株) 読売新聞社	常設展示室及び展示品	1	写真貸与	2/3	冬季企画展取材のため
162	北緯 40° ナニヤトヤラ連邦会議	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	2/8	三圏域魅力発信デジタルパンフレット「NaNya」
163	(株) 八戸テレビ放送	常設展示室及び展示品	2	映像撮影	2/14	ニュース取材のため
164	(株) 文学通信	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	2/14	書籍『土偶を読むを読む』に掲載するため。
165	(株) アマゾンラテルナ	中居遺跡	2	写真貸与	2/17	青森県 世界遺産・縄文遺跡 PR 映像
166	青森県考古学会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	2/22	書籍『青森の考古学』に掲載するため。
167	VISIT はちのへ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/4	はちのへ観光名刺の作成及び販売のため
168	青森県中学校体育大会夏季大会実行委員会	いのるん	1	写真貸与	3/9	中体連大会参加章として大会関係者に配布するため。
169	(公財) 北海道埋蔵文化財センター	「北海道・北東北の縄文遺跡群 是川石器時代遺跡」パンフレットほか	22	写真貸与	3/9	北海道世界文化遺産活用推進実行委員会の調査研究報告書に掲載及び附録に添付するため。
170	(公財) 北海道埋蔵文化財センター	史跡是川石器時代遺跡全景ほか	12	写真貸与	3/29	企画展「北の縄文ー世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群ー」に係る展示パネル及び配布資料作成のため
171	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	12	写真貸与	3/31	論文集「Queen Mother of the West:Papers in Honour of professor Gina Lee Barnes」に掲載するため
172	三内丸山遺跡センター	風張 1 遺跡 第 72 号土壙墓 玉類出土状況	1	写真貸与	3/31	特別展「三内丸山とヒスイ」の展示図録及び展示パネル等への掲載のため
173	秋田県立近代美術館	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	1	写真貸与	3/31	特別展「縄文 小川忠博」写真パネル、来館者 SNS、広報にの利用のため

令和 4 年度資料利用依頼一覧 (5)

(2) 実物資料

令和 4 年度は合計 4 件の貸出を許可した。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 甕形土器・管玉 一王寺遺跡出土 骨角器 八戸城跡出土 土偶様壺形土器他 計 46 点	R4.4.1 ~ R5.3.31	常設展示
2	三内丸山遺跡センター	縄文きんちゃくほか 12 点	R4.6.29 ~ R4.10.21	世界遺産登録 1 周年記念特別展「北海道・北東北の JOMON」
3	八戸市博物館	八戸城跡出土ガラスびん資料ほか 110 点	R4.9.2 ~ R4.10.22	令和 4 年度八戸市博物館秋季特別展「透 明なうたかた - ガラスびんに映った近現代 -」
4	山形県立博物館	国宝 合掌土偶 複製品	R4.9.12 ~ R4.12.16	令和 4 年度プライム企画展「女神たちの 饗宴ー「縄文の女神」国宝 10 周年ー」

令和 4 年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約 700 点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約 3,000 箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

令和 4 年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した 145 点、90 箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査

記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員会の発掘調査では、これまで記録保存の手段として 35mm フィルムの使用を必須としていたが、メーカーの製造数減少を受けて、今後の安定的な入手が困難と判断し、フルサイズ一眼レフデジタルカメラのみでの記録を行っている。

(4) 図書

図書については、57,639 冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書の内 24,243 冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

令和 4 年度は 2,293 冊（うち寄贈 2,265 冊、購入 28 冊）を新たに追加した。

(5) データベース

是川縄文館データベースは、遺跡・図書・収蔵資料に関するデータをクラウド型データベースに格納した。現在、遺跡 491 件、図書 57,639 件、資料 45,902 件など全 104,230 件の情報を格納して運用している。

7. 予算概要 ※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額（円）
運営経費		102,084,000
《内訳》	施設維持管理経費	77,076,000
	一般管理事務経費	25,008,000
特別展・体験事業等開催事業費		25,612,000
《内訳》	特別展経費	9,920,000
	企画展経費	6,027,000
	共同研究経費	213,000
	教育普及経費	1,233,000
	資料調査経費	331,000
	その他	7,888,000
是川縄文の里整備事業費		139,017,000
発掘調査事業費		72,669,000
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	56,531,000
	八戸城跡発掘調査事業費	12,100,000
	田面木遺跡発掘調査事業費	826,000
	文化財調査管理事務経費	3,212,000
埋蔵文化財保存活用費		11,317,000
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	6,339,000
	是川遺跡出土品保存修理事業費	4,978,000
合 計		350,699,000

8. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 館の利用制限

新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを減じるため、ミュージアムショップの一時休業、展示解説ガイド・体験学習指導の予約受付制限等各種の対応を行った。また、それに付随して予定していたイベントについても、情勢の変化に応じて内容の変更や開催中止等の対応を行った。

(2) 感染症対策

主に以下のとおりの感染対策を行った。これら対策の多くは令和2年度より継続して実施していたが、令和5年3月に、感染症の対処方針が変更されたことを受けて、感染対策の見直しを行った。

[～令和5年3月13日]

- ・館内スタッフのマスク着用徹底
- ・受付、ミュージアムショップのレジに飛沫防止カーテンを設置
- ・トレーでの現金授受
- ・来館者の入館時のマスク着用、手指消毒の徹底
- ・来館者への検温、連絡先、健康状態の記入依頼
- ・展示室の入場制限（原則 50 人／1 時間）
- ・観覧時間制限（常設展：1 時間、企画展：30 分）
- ・シアター前に設置している椅子の間隔保持 ※席数を 19 → 8 に変更
- ・展示室への再入場や逆進行の禁止
- ・体調に不安がある方への入館制限

[～令和5年3月31日]

- ・ゴミ箱の撤去
- ・ガイド、体験学習指導時のフェイスシールドやハンズフリーマイクの利用促進
- ・日曜日縄文体験コーナーのメニューを限定（1 時間以内で体験可能な琥珀・滑石の勾玉作り、火起こし）
- ・体験コーナー利用後の各種道具、テーブル等の消毒の実施

月 日	内 容
4 月 1 日 (金) ～	・これカフェ・ミュージアムショップの閉鎖 ※～4 月 11 日 (月) ・日曜日縄文体験コーナーの中止 ※～4 月 24 日 (日)
4 月 12 日 (火)	・これカフェを席数制限のうえ営業 ※～3 月 13 日 (月)
7 月 23 日 (土) ～ 8 月 14 日 (日)	・夏休み縄文体験コーナーの中止

主な新型コロナウイルス感染症対策

月 日	対象イベント	内容
7 月 23 日 (土)	特別展ギャラリートーク	中止
7 月 30 日 (土)	特別展ギャラリートーク	中止
8 月 6 日 (土)	特別展ギャラリートーク	中止
8 月 21 日 (日)	これかわ縄文まつり	中止
10 月 1 日 (土)	これかわ考古学クラブ③	変更 (12 月 3 日)
12 月 3 日 (土)	これかわ考古学クラブ④	変更 (1 月 21 日)

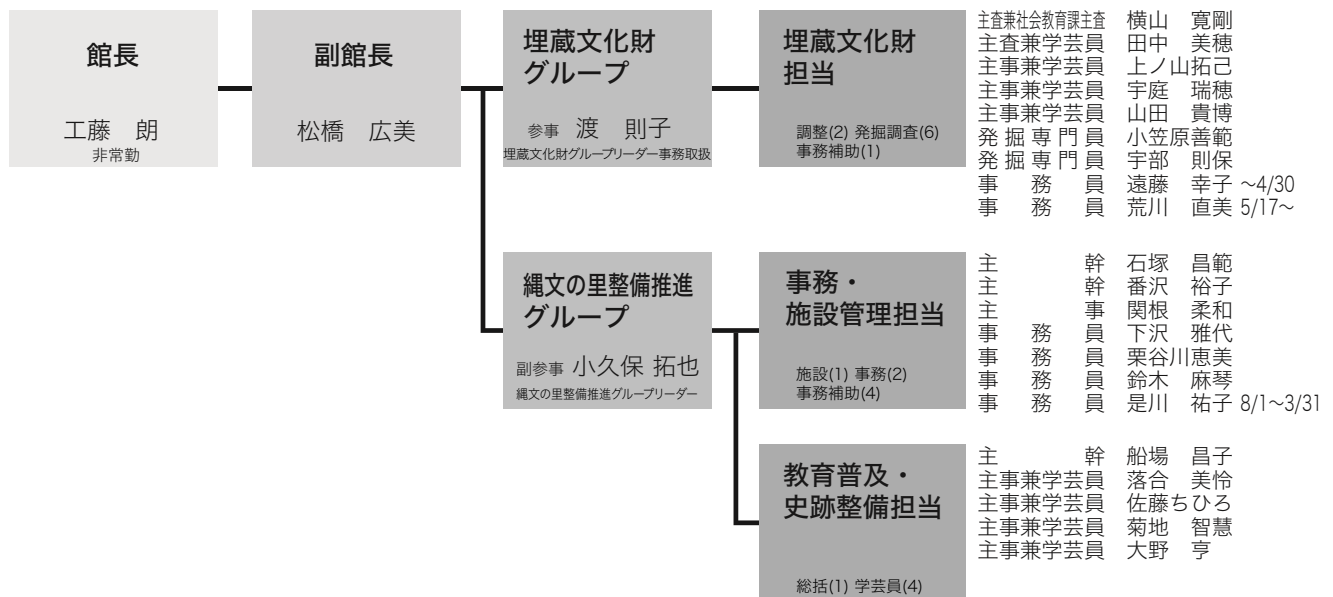
新型コロナウイルス感染症対策のため内容の変更、開催の中止・延期を行ったイベント



館内設置の非接触型消毒液

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】 平成7年 【会員数】 146名（法人会員含む）

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙など

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどのイベントが中止となったが、夏から秋にかけて「第7回足川縄文の里俳句大会」を開催した。俳句大会では学生の部・一般の部あわせて514作品の応募があり、その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。

そのほか、当協会は「青森県の縄文遺跡群世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産に係る普及啓発を行っている。



俳句大会表彰式

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和 49 年 【会員数】13 名

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。

特に環境整備等の活動では、平成 6 年から実施された分館敷地内の復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。

令和 4 年度は、カラムシ栽培管理・サルナシ柵付近の除草・記念碑敷地清掃に関する業務を委託した。

4. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成 8 年 【会員数】40 名

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①縄文体験コーナー
- ②土曜日体験教室
- ③グループ・団体の体験学習の指導
- ④縄文土器野焼き
- ⑤学校・公民館等での体験学習の指導
- ⑥研究・研修・学習会
- ⑦是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド

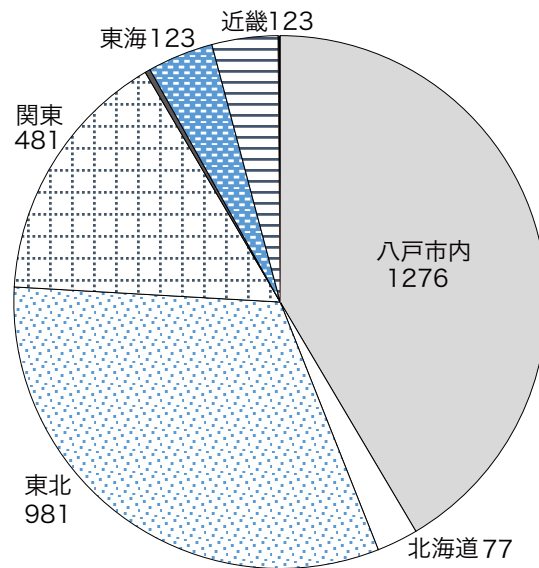
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、Ⅲ - 3 教育普及の実績、Ⅵ - 2 日記抄を参照されたい。



サポートスタッフ研修会の様子

月	開館 日数	延人数	一日平均 人数
4	26	170	7
5	27	243	9
6	27	239	9
7	30	240	8
8	30	205	7
9	27	277	10
10	27	262	10
11	25	272	11
12	22	179	8
1	23	185	8
2	23	203	9
3	21	236	11
計	308	2,711	9

縄文是川ボランティア
活動人数



縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握

利 用 案 内

○開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生・小学生	50 円	30 円

※市内 65 歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者 1 名は半額。特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）

年末年始（12 月 27 日～1 月 4 日）

※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通

バス：J R 八戸駅東口 4 から土日祝日のみ南部バスで約 25 分

ラピアバスターミナルから南部バス（J42）で約 25 分

中心街バスターミナル 3（中央通）から南部バスで約 20 分

自動車：八戸自動車道・八戸 I C から約 10 分、

八戸久慈自動車道・八戸是川 IC から約 5 分

タクシー：JR 八戸駅東口より約 15 分 ※距離：約 8km 料金：約 3,000 円

○駐車場 普通車 86 台 大型バス 6 台 障がい者用 3 台

○所在地 青森県八戸市大字是川字横山 1 TEL：0178-38-9511 FAX：0178-96-5392

○ホームページ <https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年 報

第 12 号 -令和 4 年度-

発 行 日	2023 年 6 月 26 日
編集・発行	八戸市教育委員会 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1 TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392
印 刷	大東印刷株式会社 〒 039-1103 青森県八戸市長苗代字内船渡 102-4 TEL 0178 (28) 2348 FAX 0178 (28) 4329